

令和元年度

事業報告書

及び附属明細書

ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

令和元年度 事業報告書
概要版

目 次

令和元年度事業実施報告書概要版

1	新潟県社会福祉協議会活動指針の推進	1
2	基本方針別の事業実施概要	
(1)	みんなで育む福祉のまちづくり	2
(2)	一人ひとりの自立生活づくり	3
(3)	利用者主体の福祉サービスづくり	4
(4)	福祉を支える人づくり	4
(5)	法人運営機能の強化	5

新潟県社会福祉協議会 令和元年度事業実施報告書概要版

1 新潟県社会福祉協議会活動指針の推進

県社協の基本理念や基本方針実現のため、平成30～令和2年度を計画期間とする活動指針に定める次の3事業を重点的かつ計画的に実施した。

(1) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進

① 地域福祉に関する問題や課題解決に向けた具体的取組の研究・協議

「地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会」を設置し、市町村社会福祉協議会における地域福祉課題の抽出や解決方法などの取組に関するフィールド調査を行うとともに、令和2年度策定予定の「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」（仮称）の内容充実を図るため、各市町村における地域福祉活動の実状を関係者間で共有することを目的に地域福祉推進セミナーを開催した。

② 新たな社会課題に焦点をあてた「テーマ型調査」の実施と課題解決に向けた具体的取組の研究・協議

「新たな社会課題の解決に向けた具体的取り組みの研究・協議に関するワーキングチーム」を設置・運営し、「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果報告書」を取りまとめ、公表するとともに、先進地視察等を実施した。

③ 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり

ア 住民の互助による移動・外出支援勉強会 in 南魚沼

11月9日 南魚沼市 参加者52名

イ 地域福祉コーディネーター研修会 参加者21名

12月17～18日 新潟市

(2) 地域における権利擁護事業の推進

① 日常生活自立支援事業

市町村社協実施方式への移行を進めるため、未移行社協への個別訪問、移行推進担当者会議を開催し、令和2年度は1町が移行することになり、県社協が対象とする新潟市を除く県内29市町村において実施することとなった。

また、事業実施社協及び専門員、生活支援員への支援のため、巡回訪問のほか、専門員会議、新任専門員研修会、生活支援員研修会などを開催した。

今後、当事業が県内くまなく利用しやすいものとして、事業移行先の市町村域における事業の早期定着、並びに積極的な活用促進につなげるため、当事業の事業従事者の知識・スキルなど資質向上を強化していくため、「新潟県日常生活自立支援事業人材育成プログラム企画会議」を設置、開催した。

② 成年後見制度普及促進事業

高齢化を背景に対象者の急増が想定される成年後見制度の普及促進のための各種事業を実施した。成年後見制度推進連絡会議は成年後見制度訪問検討会に形式を変更した上で実施した。

ア 成年後見制度担当者研修会 8月6日 新潟市 参加者76名

イ 市町村長申立推進研修会

・基礎編 新潟市 7月24日 参加者86名

・応用編 新潟市 10月24日 参加者38名

ウ 成年後見セミナー

・十日町市 7月26日 参加者22名

・聖籠町 11月15日 参加者29名

・燕市 2月5日 参加者48名

エ 成年後見制度利用促進に係る意見交換会（3回）

オ 成年後見制度訪問検討会 10月から11月にかけて8会場で開催

カ 法人後見専門員スキルアップ研修会 9月26日 新潟市 参加者36名

キ 法人後見実施団体等による意見交換会 9月26日 新潟市 参加者22名

(3) 福祉職員のキャリアパスの構築

① 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

全国共通の研修プログラムである「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」に完全移行した。

ア 初任者コース 7月から11月にかけて4回開催（新潟市、三条市）受講者235名

イ 中堅職員コース 7月から12月にかけて6回開催（新潟市、三条市）受講者263名

ウ チームリーダーコース 9月から11月にかけて3回開催（新潟市、三条市）受講者159名

エ 管理職員コース 8月に1回実施（新潟市）受講者53名

② 社会福祉施設・事業所におけるキャリアパス構築支援研修等

ア 福祉事業所におけるキャリアパス構築支援研修 新潟市 5月20日 受講者26名

イ 社会福祉職員スタートアップ研修 新潟市 8月1日～2日 受講者80名

ウ エルダー研修 新潟市 6月5日 受講者109名

③ 研修受講後アンケート調査

受講者・上司等を対象に受講後の行動面・意識面の変化等の調査

2 基本方針別の事業実施概要

(1) みんなで育む福祉のまちづくり

① 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

ア 第69回新潟県民福祉大会の開催

10月29日～30日 南魚沼市 参加者約1,000名

イ 福祉・介護・健康フェア2019の開催

・新潟市 11月17日 来場者17,795名



《第69回新潟県民福祉大会》

- ・長岡市 12月1日 来場者4,752名
- ・上越市 10月26日 来場者1,814名

② 地域福祉活動の振興

- ア 市町村社協会長視察研修 9月5～6日 阿賀町 参加者43名
- イ 市町村社協職員課題別研修会
 - ・社協新任及び社協職員研修会 5月9日～10日 長岡市 参加者18名
 - ・市町村社会福祉協議会地域福祉担当者研修会 9月20日 新潟市 参加者23名
 - ・若手社協職員の集い 11月29日 上越市 参加者22名
- ウ 市町村社協BCP策定ガイドライン策定
 - ・ガイドライン編纂委員会を2回開催。令和2年2月に「新潟県内市町村社会福祉協議会BCP策定ガイドライン」完成。
 - ・市町村社協BCPガイドライン策定研修会 2月4日 新潟市 参加者36名

③ ボランティア活動の振興

- ア 福祉教育推進セミナー 10月11日 新潟市 参加者17名
- イ 大学生・高校生ヤングボランティア応援プロジェクト
 - 県内大学のボランティア活動取材し、「福祉にいがた」に掲載
- ウ 県民たすけあい基金運用益助成事業 60団体 16,156,000円

④ 関係機関・団体との連携・支援の推進

- ア 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施
 - 10福祉団体共同による県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動 12月24日
- イ 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進
 - ・災害福祉支援チーム員基礎研修 9月9～10日 新潟市 受講者33名

(2) 一人ひとりの自立生活づくり

① 高齢者の社会参加の促進

- ア ねんりんピック
 - ・第24回にいがたねんりんピックの開催 13種目 参加者1,028名
 - ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）派遣 11月9～12日 和歌山県102名派遣
- イ シニアカレッジ新潟
 - ・基礎応用課程講座
 - 1年次 4クラス 全13日間 167名修了
 - 2年次 4クラス 全14日間 124名修了
 - ・実践講座
 - 4コース 各2～4日間 100名修了

② 高齢者の生活支援の充実

- ア 高齢者総合相談センターの運営
 - 相談者数 1,668名 相談延件数 2,267件



≪全国健康福祉祭(ねんりんピック)≫

イ 認知症コールセンターの運営

相談者数 307名 相談延件数 436件

③ 障害者の社会参加の促進

ア 福祉の店パレット新潟店の運営

・農福マルシェ開催（福祉・介護・健康フェア2019同時開催）

・障害者施設商品のコンプライアンス強化

HACCP導入のためのマニュアルハンドブック配布

食品表示法改正による適正な表示に向けてのセミナー開催

イ 新潟ユニゾンプラザとの共催事業

ほっこり冬の縁日を2月16日（日）開催し、屋外イベント広場や図書情報ルームガラス面を障害者アーティスト、保育園児の作品を展示し授産製品の販売やチャリティバザーを行った。

・屋外イベント広場等絵画制作者 210名

・出店施設（チャリティバザー含む）10施設 売上 224,673円

・来場者 600名

④ 生活の安定への支援

ア 生活福祉資金等貸付事業

貸付件数：103件／貸付額：22,727,923円

（うち、特例貸付：9件／貸付額：1,600,000円）

イ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

貸付件数：10件／貸付額：3,340,000円

ウ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業

貸付件数：5件／貸付額：3,330,000円

(3) 利用者主体の福祉サービスづくり

① 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

ア 福祉サービス運営適正化委員会の開催

・委員会 2回

・利用援助事業調査小委員会 4回

・苦情解決小委員会 6回（苦情受付実績62件）

イ 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催

6月、10月に2回開催 参加者：420名

(4) 福祉を支えるひとづくり

① 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

ア 福祉人材センター事業

・福祉人材無料紹介所での求人求職相談、斡旋

相談件数10,137件、採用175名

- ・福祉のしごと就職フェア
5～2月に5市で8回開催 来場者300名
- ・人材確保のための法人向けセミナーの開催
12月11日 新潟市 受講者76名
- イ 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施
 - ・介護福祉士・社会福祉士修学資金
貸付件数：124件／貸付額：48,620,000円
 - ・介護福祉士実務研修受講資金
貸付件数：105件／貸付額：16,910,000円
 - ・離職介護人材再就職準備金
貸付件数： 0件／貸付額： 0円
- ② 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進
 - ア 県民介護知識・技術習得講座
 - ・介護の基礎コース 新潟市、長岡市で4回開催 参加者99名
 - ・ステップアップコース 新潟市、長岡市で4回開催 参加者88名
 - ・介護体験・入門コース 新潟市、上越市で6回開催 参加者103名

(5) 法人運営機能の強化

- ① 内部管理体制の整備
 - ア 内部監査の実施
実施時期：令和元年11月
 - イ 内部通報窓口の設置
設置時期：令和元年10月
- ② 職員の育成・組織力向上
組織力向上研修、社協職員研修、実践研修などを実施
- ③ 自主財源確保に向けた取組
事務局職員による経営強化プロジェクトチームを設置し、自主財源増強、経費効率化を検討
- ④ 新潟ユニゾンプラザの管理運営
- ⑤ 県社協事業継続計画（BCP）の策定
作成時期：令和2年3月



《職員研修・災害支援者研修》

令和元年度
事業報告書

令和元年度事業報告書

第1 概要	8
第2 事業実施状況	9
基本方針Ⅰ みんなで育む福祉のまちづくり	
推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成	9
推進目標2 地域福祉活動の振興	13
推進目標3 ボランティア活動の振興	23
推進目標4 関係機関・団体との連携・支援の推進	30
基本方針Ⅱ 一人ひとりの自立生活づくり	
推進目標1 高齢者の社会参加の促進	36
推進目標2 高齢者への生活支援の充実	39
推進目標3 障害者の社会参加の促進	41
推進目標4 生活の安定への支援	44
基本方針Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり	
推進目標1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進	50
推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実	57
基本方針Ⅳ 福祉を支える人づくり	
推進目標1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援	61
推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進	69
推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進	71
基本方針Ⅴ 法人運営機能の強化	
推進目標1 組織推進体制・経営力強化	82

令和元年度事業報告書

第1 概 要

次の5本柱を基本方針に掲げ、新たなニーズへの対応や社協活動の啓発・広報強化、福祉団体との連携強化、事業評価を踏まえた新規事業の充実などに重点的に取り組んだ。さらに、活動指針に基づき重点的かつ計画的に取り組む事業の推進を図った。

基本方針Ⅰ みんなで育む福祉のまちづくり

8年目となる「福祉・介護・健康フェア」は県内3会場で開催し、県内の多くの方に来場頂くとともに、南魚沼市において第69回新潟県民福祉大会を開催した。また、地域共生社会実現に向けた住民主体によるたすけあい活動の推進、新たな社会課題を抱える市町村社協に対する支援をとおして、基盤構築の推進に取り組んだ。

基本方針Ⅱ 一人ひとりの自立生活づくり

高齢者の社会参加を進めて地域社会の活力を維持するため、「にいがたねりんピック」及び「シニアカレッジ新潟」を実施した。福祉の店パレット新潟店運営事業において、農福連携マルシェや障害者施設商品のコンプライアンス強化に関する研修会を開催した。また、低所得者等への資金の貸付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金貸付事業を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のため、必要とする世帯へ緊急小口資金等の貸付けを行った。

基本方針Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり

判断能力に不安のある方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援する「日常生活自立支援事業」の市町村社協実施方式への移行を進めるため、未移行社協への戸別訪問や移行担当者会議を開催し、令和2年度は1町が実施することになり、新潟市を除く県内29市町村において実施することとなった。また、成年後見制度利用促進基本計画の策定により、今後利用者の増加が想定される成年後見制度の更なる普及促進のための事業を行った。

基本方針Ⅳ 福祉を支える人づくり

県内の福祉・介護人材を確保するため、無料職業紹介事業による求人、求職の登録・斡旋を行うとともに、福祉のしごと就職フェアや就活さぼーとセミナーの開催、求職登録者へ福祉の仕事に関する情報をメールでの配信や、個別に連絡を密に取る等のきめ細やかな支援を行った。

福祉職員のキャリアパス構築のため、「福祉職員キャリアパス生涯研修課程」の研修受講後の行動面・意識面の変化について、受講者・上司等に対して調査を行った。また、新規に「福祉職場の働き方改革研修」「スーパービジョン研修」「チームワーク向上研修」「相談面接技術基礎研修」など、福祉の動向や 受講者のニーズに即した研修を実施した。

基本方針Ⅴ 法人運営機能の強化

職員の育成・資質向上のため、組織力向上や個人のスキルアップを目的とした職員研修に取り組んだ。また、新潟県の指定管理者として新潟ユニゾンプラザのサービス向上に努めるとともに、新たに会計監査人を設置した。

第2 事業実施状況

◎新規事業 ○一部新規

基本方針Ⅰ みんなで育む福祉のまちづくり

推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

1 新潟県民福祉大会開催事業

(1) 第69回新潟県民福祉大会

期日・場所等	内 容
10月29日 南魚沼市 (来場者約1,000名)	<p>[研究集会]</p> <p>第1研究集会 「高齢期における健康で明るい日常生活のために」 コーディネーター 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎 シンポジスト 新潟市福祉部地域包括ケア推進課 課長 関 智雄 新潟県栄養士会栄養ケア・ステーション コーディネーター 折居 千恵子 南魚沼市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 小熊 美佐子</p> <p>第2研究集会 「誰もが孤立することなく、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して」 コーディネーター 新潟県身体障害者団体連合会 常務理事 田代 健一 シンポジスト NPO 法人 KHJ にいがた秋桜の会 理事長 三膳 克弥 皆幸希福社会 理事長 山崎 美千子 魚沼市社会福祉協議会地生活支援係 係長 佐藤 直樹</p>
10月30日 南魚沼市	<p>[式典]</p> <p>新潟県知事表彰 24名、4団体、2組 新潟県社会福祉協議会長表彰 247名、15団体 新潟県共同募金会長表彰 38名、2地区、5団体、1校</p> <p>[記念講演] フィットネスインストラクター 西本 真寿美</p>

(2) 社会福祉関係者の表彰（新潟県社会福祉協議会長表彰）

表 彰 区 分	被表彰者数
① 民生委員児童委員表彰	178名
② 社会福祉団体役員表彰	7名
③ 社会福祉活動優良団体表彰	11団体
④ 社会福祉活動者表彰	9名
⑤ 社会福祉事業協力表彰	2団体
⑥ 永年勤続表彰	53名
⑦ 特別表彰（母子及び父子並びに寡婦福祉法施行55周年記念）	2団体

(3) 県社協会長表彰選考委員会

会長表彰選考委員会 9月13日 新潟ユニゾンプラザ4階 小研修室4

2 福祉・介護・健康フェア開催事業

(1) 福祉・介護・健康フェア2019

① 実施概要

期日・場所等	内 容
[主催] 新潟県社協 新潟日報社 新潟市社協 11月17日 新潟市 (来場者17,795名)	[メインステージ] ・朝原 宣治 プレミアムトークショー ・東田 直樹 『自閉症の僕のはぐくんだもの』 ・宮島 賢也 『子どもは授かりもの』 ・『新潟きものコレクション』 ・山田 邦子 プレミアムトークショー (世代間交流事業) [セミナーブース] ・みて・きいて・うたって楽しむ45 ・賢い病院のかかり方、医療とのかかわり方 ・今日から始めるオーラルフレイル予防 ・健やかな高齢期を目指して～高齢者に起こりやすい事故の予防～ ・認知症の予防について [情報展示コーナー] ・出展団体(企業)：72社/95ブース出展 [同時開催事業] ○新潟市社会福祉協議会 会員大会 ○世代間交流事業 ・健康測定・体力測定、おもちゃ病院、木工教室 ○「介護の日」県民のつどい ・フットケア体験 ・認知症サポーター養成講座 ・「介護の日」ポスターコンテスト ・福祉相談コーナー (4ブース設置) ○新潟県介護技術コンテスト ○福祉の店パレット周年祭 ・出店施設 (事業所)：31施設 ○ノウフクマルシェ 出店施設 (事業所)：7施設 [体験コーナー] [子ども広場] [絵本ワールド] [グルメコーナー] [大抽選会]
[主催] 新潟県社協 新潟日報社	[メインステージ] ・岸見 一郎 『よく生きるということ』 ・富所 隆 『新しい時代のガンとの向き合い方』

<p>長岡市社協 12月1日 長岡市 (来場者4,752名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルライブ ・今日からチャレンジ! ロコモ体操～ロコモかしこもさびないで～ ・室伏 由佳『可能性への挑戦～競技スポーツの経験を通して～』 ・大場 久美子 プレミアムトークショー <p>[セミナーステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・障害者の自立支援 ・救急・災害医療とフェニックスネット ・楽しく学べる成年後見制度 ・新たな介護施設 介護医療院について ・長岡介護イノベーション・ハブの活動について <p>[情報展示コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展団体(企業)：45社/60ブース出展 <p>[同時開催事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノウフクマルシェ 出店施設(事業所)：10施設 ○福祉の店 パレット長岡 ○チャリティーバザー ○くすりと健康のイベント「スマートライフ in 長岡」 <p>[アール・ブリュット展 in 長岡 petit]</p> <p>[いきいき生活相談会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談コーナー 他 <p>[オレンジカフェ]</p> <p>[子ども広場]</p> <p>[子どもスポーツ体験コーナー]</p> <p>[グルメコーナー]</p> <p>[大抽選会]</p>
<p>[主催] 新潟県社協 新潟日報社 上越市社協 10月26日 上越市 (来場者1,814名)</p>	<p>[メインステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's にこにこダンス Time ・コウケンテツ 『キッチンからはじまる家族の絆』 ・長崎 和志 『夢をもつことの大切さ』 ・林家 こん平、笠井 咲 『笑みの処方箋でみんな元気に!』 ・伊是名 夏子 『助け合うってどういうこと? ～共生社会に必要なこと～』 <ul style="list-style-type: none"> ・本宮 宏美 フルートコンサート <p>[セミナーブース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・成年後見あるある笑百科 ・自宅で利用できる介護サービス訪問介護と定期巡回 ・住み慣れた地域で暮らし続けるために、今、できること ・腸内フローラと健康との関わり <p>[情報展示コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展団体(企業)：27社/46ブース出展 <p>[同時開催事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノウフクマルシェ 出店施設(事業所)：5施設 ○上越ワーキングネットワーク、福祉の店 パレット上越 <p>[体験コーナー]</p> <p>[子ども広場]</p> <p>[健康チェックコーナー]</p> <p>[上越アール・ブリュット公募展]</p>

② 周知・広報活動

- ・新潟日報朝刊・おとなプラス・assh・N-assh（長岡）・J-assh（上越）における広告掲載：出展者募集、開催告知、採録特集等
- ・福祉新聞紙面における広告掲載：開催告知
- ・テレビ・ラジオCMによる開催告知：10月上旬～
- ・ポスター・チラシによる開催告知：9月下旬～
- ・イベント専用ホームページの運営：5月下旬～

3 福祉情報提供事業

(1) 県社協ホームページの管理・運営

- ・ホームページを随時更新し、各種情報提供を行った。
- ・バナー広告掲載：10企業・団体（令和2年3月末現在）

(2) 新潟ユニゾンプラザ図書閲覧室

福祉関係図書や視聴覚資料の閲覧・貸出、パソコンによる福祉情報の提供を行った。また、県内福祉関係施設や県内外の社会福祉協議会の機関誌を整理・開架した。

① 利用状況等

事 項	利用実績
利用者数	5,743名
利用登録者数	4,014名
図書貸出数	1,299冊
視聴覚資料貸出数	63点
相談件数	33件

② 利用促進に関する主な取り組み

- ・福祉にいがた「ライブラリーNEWS」の掲載等 10回
- ・ホームページによる新刊等の図書紹介 7回
- ・ユニゾンプラザや図書閲覧室内の書籍PR用イーゼルの設置 7本
- ・新潟医療福祉大図書コーナーの設置
- ・ユニゾンプラザ内で開催される研修等での図書案内チラシの配布 27回 2,680枚
- ・利用者アンケートの実施 1回
- ・「福祉・介護・健康フェア2019」新潟会場に県立図書館と合同でブース出展
新潟県の福祉の歴史を記録した「越佐社会事業」や、口腔ケア等施設の研修に活用できる視聴覚教材、発達障害など福祉関係の図書や福祉の絵本を展示紹介した。
来場者数：図書閲覧室ブース202名、県立図書館ブース308名 計510名（延べ人数）

(3) 広報アドバイザー派遣

福祉施設・団体が発行する広報紙の製作等に関し助言を行うアドバイザーを派遣した。

施設・団体名	内 容
新潟県保育士会 11月1日	「会報誌作成における編集作業の要点と進め方」

(4) データパンフレット「新潟県のふくし」

県内の福祉関係者・団体の活動に役立てることを目的に、県内の福祉に関する基礎的データを集約したパンフレットを作成し、第69回新潟県民福祉大会参加者等で配布した。

- ・ 作成部数 1,700部
- ・ 内 容 世帯・高齢者・児童・障害者・生活困窮・孤立等の統計、指標でみる新潟県の姿

4 機関誌発行事業

(1) 福祉にいがた

高校生のボランティア活動を紹介する連載「笑顔 共に」を始めた。また、巻頭特集の充実に努めたほか、福祉の現状やそれに対する県社協の事業をはじめ、福祉の実践活動など幅広く紹介した。

- ・ 発行実績：年10回、各15,000部 年3回（オアシス組み込み）、各20,000部

(2) 福祉にいがたオアシス21

明るい長寿社会づくりを目的に、高齢者に関わる諸問題を中心に誌面を展開した。年間を通して16ページ建てとし、一層充実した誌面の発行に努めた。3月号を特別号として発行。

- ・ 発行実績：年3回、各20,000部

5 共同募金・たすけあい運動等推進事業

(1) 共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進

社会福祉法第119条の規定に基づき、新潟県共同募金会に対し、募金の目標額及び配分方法等について意見具申をするとともに、募金運動の推進に積極的に協力した。

(2) 福祉週間・月間運動の啓発

各種週間事業（子どもの日－児童福祉週間、老人の日－老人週間、障害者の日－障害者週間）について、ポスターの配布等を通じて県民の意識啓発に努めた。

推進目標 2 地域福祉活動の振興

1 地域福祉活動推進・市町村社協活動支援事業

(1) 市町村社協会長視察研修

県内の先進的な地域福祉活動等を視察し、社協事業全般について役員相互の意見交換等を行うことで連携・交流を深め、社協活動の推進に資することを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
9月5～6日 阿賀町 (参加者43名)	話題提供「阿賀町成年後見センターの現状と今後の展望」 阿賀町 福祉介護課 地域包括支援センター 渡部 一知 「阿賀町社協法人後見の取り組みと課題」 阿賀町社会福祉協議会 地域福祉係 谷垣 智子 取組紹介「過疎化高齢化地域における多職種連携による地域医療の実践」 新潟県立津川病院 原 勝人 懇談・情報交換会 阿賀町長 神田 一秋 視察「東北電力 鹿瀬ダム」 講義「公害が地域社会にもたらす影響と支え合いのまちづくり」

	新潟県立環境と人間のふれあい館 塚田 眞弘 取組紹介「新潟清酒学校の設立について」 麒麟山酒造株式会社 齋藤 吉平 視察「麒麟山酒造株式会社」
--	--

(2) 市町村社協職員課題別研修会

市町村社協の地域福祉担当者等を対象に、階層別、課題テーマ別に業務推進に必要なとされる知識や技術の習得を図ることを目的に研修会を開催した。

① 社協新任及び初級職員研修会

期日・場所等	内 容
5月9日 長岡市 (参加者17名)	<p>演習「アイスブレイクと導入」</p> <p>新発田市社会福祉協議会地域福祉課 参事 川瀬 聖志 関川村社会福祉協議会総務課 主任 平田 達哉 新潟県社会福祉協議会高齢者総合相談センター 主事 山本 実央</p> <p>講義「社協の役割とこれからの地域福祉」</p> <p>新潟県社会福祉協議会地域福祉課 課長 中原 敦子</p> <p>ミニトーク「駆け出し社協職員の挑戦」</p> <p>語り手:五泉市社会福祉協議会総務福祉係 主事 清野 真波 佐渡市社会福祉協議会松ヶ崎デイサービスセンター まつさきの里 介護職員 加藤 直也</p> <p>聞き手:柏崎市社会福祉協議会総務課 主事 竹之内 拓馬 長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」視察</p>
5月10日 長岡市 (参加者18名)	<p>視察「長岡市社会福祉センター”トモシア”視察」</p> <p>長岡市社会福祉協議会ボランティアセンター 管理員 小林 信行 管理員 田公 会美</p> <p>リレートーク「長岡市社協の取り組みを通して社会福祉協議会の実務を学ぶ」</p> <p>テーマ①「住民主体の地域福祉活動を進める取組」 テーマ②「セーフティネットの網目を紡ぐ権利擁護事業」 テーマ③「社協が取り組む介護保険事業」 テーマ④「新生！長岡市ボランティアセンター」</p> <p>進 行：長岡市社会福祉協議会地域福祉課 課長 本間 和也 発表者：長岡市社会福祉協議会地域福祉課 主事 石田 尚也 長岡市社会福祉協議会介護サービス課 主査 五十嵐 江身子 主任介護士 菫澤 好子 長岡市社会福祉協議会ボランティアセンター 係長 阿部 奈津実</p> <p>演習「社協で働く意義・価値を考え、社協職員としてのあり方を探る」</p> <p>長岡市社会福祉協議会地域福祉課 主事 石田 尚也</p>

	上越市社会福祉協議会上越支所 主事 常田 絃子 柏崎市社会福祉協議会総務課 主事 竹之内 拓馬 小千谷市社会福祉協議会地域福祉係 主事 新保 鮎美 新潟市北区社会福祉協議会 事務局長補佐 大野 裕明 新潟県社会福祉協議会福祉人材課 主事 渡邊 貴浩
--	--

② 市町村社協事務局長会議

県内市町村社協の事務局長が一堂に会し、諸課題に対する議論を深めるとともに情報を共有することを目的に開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
7月8日 新潟市 (参加者38名)	① 健康立県（ヘルス）プロモーション事業について ② 令和元年度新潟県社会福祉協議会事業計画について ③ 地域アセスメントを活用した福祉課題の解決に向けた取組の研究について ④ 令和元年度市町村社会福祉協議会の重点事業等について ⑤ その他

③ 課題別研修会

ア 市町村社会福祉協議会地域福祉担当者研修会

期日・場所等	内 容
9月20日 新潟市 (参加者23名)	講義「PowerPoint を活用した効果的なプレゼン方法 ～黒部市社協の取組から学ぶ～」 ワークショップ「実践！ ” 共感 ” ” 参加 ” を促すためのプレゼンター を目指して」 黒部市社会福祉協議会 総務課経営戦略係 小柴 徳明

イ 若手社協職員の集い

期日・場所等	内 容
11月29日 上越市 (参加者22名)	ミニレクチャー「ファシリテーションの考え方とスキル」 練習ワーク「3人インタビュー」 ミニレクチャー「ファシリテーション・グラフィックのポイント」 演習ワーク「FG道場！」 演習ワーク「グループ対話」 NPO 法人みらいず Works 理事 角野 仁美

④ 広報研修会

期日・場所等	内 容
9月3日 新潟市 (参加者25名)	「読みたくなる記事の書き方」とについて 新潟日報社編集局報道部地域総括デスク兼論説編集委員 風間栄治 「失敗しないSNS運用」 ソルメディエーじ web デザイナー・エンジニア 安達 誠

(3) 福祉施策や動向に関する情報提供

① 新潟県社協メール情報の発信

市町村社協に対しメール情報を発信し、福祉情報等を提供した。

・配信数及び提供記事数：32回、131記事

(4) 「市町村社協BCP策定ガイドライン」策定

災害時における市町村社協の効率的・効果的な法人運営を目指すため、BCP（事業継続計画）策定ガイドラインを編纂し、その必要性の理解促進及び策定の普及を図ることを目的にガイドライン編纂委員会を開催した。令和2年2月に「新潟県内市町村社会福祉協議会BCP策定ガイドライン」を作成し、市町村社協へ配布した。

① ガイドライン編纂委員会

期日・場所等	内 容
第1回 6月24日 長岡市	協議 市町村社協向けBCP（事業継続計画）ガイドライン（案）について
第2回 11月6日 長岡市	協議 市町村社協向けBCP（事業継続計画）ガイドライン（案）について

② 市町村社会福祉協議会BCPガイドライン策定研修会の開催

災害時に社協が求められている支援活動をいち早く展開できるよう、事業継続計画（BCP）の策定を推進することを目的に研修会を開催した。

期日・場所等	内 容
2月4日 新潟市 (参加者36名)	講義 「市町村社会福祉協議会事業継続計画（BCP）ガイドライン」 (株)浜銀総合研究所 主任コンサルタント 江嶋 哲也 講義 「社会福祉協議会の災害支援活動における現状と課題」 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文 講義 「災害時に備える社会福祉協議会における福祉的事業継続計画の策定に向けて」 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文

(5) 市町村社協における「新型コロナウイルス感染症」への対応状況照会

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う県内各市町村社協における現状や対応等について、照会し情報を提供した。 調査日：令和2年3月18日

2 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進〈活動指針〉

(1) 新たな社会課題の抽出及び検討

地域共生社会実現に向けた住民主体によるたすけあい活動の推進、新たな社会課題を抱える市町村社協に対する個別訪問などをとおして、関係機関・団体との連携のもと、課題解決に向けた方策の検討やその取り組みが円滑かつ効果的に推進できるよう支援を行った。

① 市町村社協への訪問・個別支援

社協名	内 容
長岡市社協	災害発生時の事業継続計画（BCP）策定プロジェクトチーム・ワーキングチームへの参画 福祉担当コミュニティセンター主事連絡会講師
新発田市社協	孤立化による空き家の予防連絡会への参画
小千谷市社協	小千谷市社協協力員懇談会・講演会講師
村上市社協	被災者支援にかかる意見交換会への参画
燕市社協	災害支援入門編（職員）研修講師
南魚沼市社協	住民の互助による移動・外出支援勉強会 in 南魚沼の開催にかかる連携・協力
阿賀町社協	令和元年台風19号災害支援活動外部検証会議への参画
湯沢町社協	発展強化計画策定に向けた支援協力
三魚沼地区社協	三魚沼地区社会福祉協議会災害担当者打合せ会議への参画

(2) 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり

新たな社会課題への対応のあり方について、関係機関・団体と連携して考える場（セミナー、学習会等）を企画、開催した。

① 住民の互助による移動・外出支援勉強会 in 南魚沼

期日・場所等	内 容
11月9日 南魚沼市 (参加者52名)	はじめに「南魚沼市の現状について」 南魚沼市都市計画課 熊木 悟志 南魚沼市介護保険課 小林 康宏 講義「支えあい、助け合いによる移動・外出支援について」 NPO法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子 事例発表「先進地事例に学ぶ、目指す住民主体の移動支援の形」 発表者： 小千谷市観光交流課 荻野 隆太 社会福祉法人桜井の里福祉会 高齢者総合生活支援施設はな広場 施設長 小林 豊 聞き手：NPO法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子

② ひきこもり支援従事者研修会

期日・場所等	内 容
2月28日 新潟市	基調報告「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果について ～社会的孤立、ひきこもりに関する実態を中心に～」 新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科 准教授 李 在億

※新型コロナウイルス 感染症感染拡大 防止の観点から 開催中止	新潟県立大学人間生活学部子ども学科 准教授 小澤 薫
	新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司
	基調報告「市町村における平成30年度中の「ひきこもり」の対応状況調査 について」
	新潟県精神保健福祉センター（新潟県ひきこもり地域支援センター） 講義「ひきこもり支援の実際 ～秋田県藤里町の取組と挑戦～」 藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ 事例検討 藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ

③ 「地域共生社会」実現に向けた地域づくり強化のための研修会

期日・場所等	内 容
3月5日 新潟市	基調講義「地域共生社会実現に向けた施策動向と今後の展開 ～新潟県内自治体・社協への期待を込めて～」 同志社大学社会学部 教授 永田 祐
※新型コロナウイルス 感染症感染拡大 防止の観点から 開催中止	リレー報告「新潟県内におけるモデル事業実施自治体・社協の取組」
	<報告者> 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 目崎 幹生 新潟市社会福祉協議会地域福祉課地域活動支援係 副主査 渡邊 雅弘 村上市福祉課総合相談係 副参事 中山 晴剛 佐渡市社会福祉協議会福祉課 課長 須藤 信宏 関川村社会福祉協議会総務課地域福祉活動係 主任 平田 達哉
	<助言者> 同志社大学社会学部 教授 永田 祐
	<進 行> 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司

④ 地域福祉コーディネーター研修会（再掲）

期日・場所等	内 容
12月17日～18日 新潟市 (参加者21名)	説明「新潟県内における地域福祉の推進について」 新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 主任 寺口 祐司 講義「地域福祉コーディネーターの役割」 ルーテル学院大学 学長 市川 一宏 実践発表「箕輪町社協における相談支援の取り組み」 箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美 講義・演習「見立てと構想の仕方を考える」 箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美

演習「事例検討」

箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ

地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美

⑤ 関係機関・団体との連携支援

関係機関の開催する会議、研修会等への協力支援を行った。

ア 新潟県空き家対策総合連絡調整会議

構成員として総会、情報交換会へ出席した。(2月5日)

イ 新潟県消費者安全確保地域協議会

構成員として書面会議へ出席(2月28日)

ウ 生活困窮者自立支援制度人材育成研修

都道府県研修に係る企画チームメンバーとして会議・研修会へ出席
(7月11日、7月25日、11月15日、2月5日)

エ 地域の子育て力育成事業公募審査会(新潟県少子化対策課)

審査員として審査会へ出席(5月23日)

オ 新潟県血液対策推進協議会

構成員として書面審議へ出席(3月11日)

カ 第6回新潟県高等学校ボランティア大会

審査員として大会へ出席(10月31日)

キ 子ども食堂状況調査の実施

県内の子ども食堂の状況を把握し、子ども食堂に係る施策の推進を図るため、県との協働により標記調査を実施した。

ク 8050阿賀町シンポジウム ～親として考える地域共生社会～

新潟県パーソナル・サポート・センター主催のシンポジウムにファシリテーターとして登壇(11月28日)

ケ 第1回移動等円滑化評価会議北陸信越分科会、第11回バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会議

委員として会議へ出席(6月27日)

(3) 新たな社会課題に焦点をあてた「テーマ型調査」の実施と課題解決に向けた具体的取組の研究・協議

① ワーキングチームの設置

「新たな社会課題の解決に向けた具体的取り組みの研究・協議に関するワーキングチーム」

(順不同・敬称略)

No.	氏名	所属・役職	備考
1	李 在 檉	新潟青陵大学 福祉心理学部社会福祉学科 准教授	座長
2	斎 藤 まさ子	新潟青陵大学 看護学部看護学科 教授	
3	小 澤 薫	新潟県立大学 人間生活学部子ども学科 准教授	
4	三 膳 克 弥	(特非)KHJ にいがた秋桜の会 理事長	
5	本 間 直 美	新潟県福祉保健部障害福祉課 いのちとこころの支援室 政策企画員	
6	小 田 恵	新潟県パーソナル・サポート・センター センター長	
7	樋 口 将 洋	津南町福祉保健課福祉班 班長	
8	瀧 澤 章 子	津南町福祉保健課健康班 保健師長	
9	石 沢 好 美	津南町社会福祉協議会 主事	

② ワーキング会議の開催

期日・場所	内 容
第1回 6月14日 新潟市	(1) 今年度のスケジュールについて (2) 「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査」結果分析・課題抽出について (3) 先進地視察について (4) 調査結果の公表について
第2回 8月9日 新潟市	(1) 津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果報告書(案)について (2) 調査結果の公表のあり方について (3) 先進地視察について
第3回 11月13日 新潟市	(1) 津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果報告書について (2) 先進地視察等の報告について (3) 調査結果を踏まえた今後の展開について
第4回 1月29日 新潟市	(1) 津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果を踏まえた今後の展開について (2) 令和元年度ひきこもり支援従事者研修会について (3) 今後のスケジュールについて

③ 「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果報告書」の作成・公表

「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査」に係る結果及び分析内容について取りまとめ、9月26日に津南町長へ報告するとともに、12月25日に本会ホームページ上に公表した。

【本会ホームページアドレス：<http://www.fukushiniigata.or.jp>】

④ 先進地視察の実施

生きづらさを抱える人たちの社会的役割や出番の創出に向けて先進的に取り組んでいる団

体を視察し、その取組内容についてヒアリング、意見交換等を実施した。

期日	視 察 先
9月12～13日	・社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会（秋田県山本郡藤里町）
9月27日	・特定非営利活動法人 わっこ谷の山福農林舎（長野県東筑摩郡筑北村） ・社会福祉法人 筑北村社会福祉協議会（同上）

⑤ ひきこもり支援従事者研修会の開催（再掲）

期日・場所等	内 容
2月28日 新潟市 ※新型コロナウイルス 感染症感染拡大 防止の観点から 開催中止	<p>基調報告「津南町民の日常生活のお困りごとに関する調査結果について ～社会的孤立、ひきこもりに関する実態を中心に～」</p> <p>新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科 准教授 李 在億 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 准教授 小澤 薫 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 寺口 祐司</p> <p>基調報告「市町村における平成30年度中の「ひきこもり」の対応状況調査 について」</p> <p>新潟県精神保健福祉センター（新潟県ひきこもり地域支援センター）</p> <p>講義「ひきこもり支援の実際 ～秋田県藤里町の取組と挑戦～」</p> <p>藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ</p> <p>事例検討 藤里町社会福祉協議会 会長 菊池 まゆみ</p>

(4) 地域福祉に関する問題や課題解決に向けた具体的取組みの研究・協議

① 検討委員会の設置

「地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討委員会」

(順不同・敬称略)

No.	氏名	所属・役職	備考
1	菱 沼 幹 男	日本社会事業大学 准教授	委員長
2	本 間 和 也	長岡市社会福祉協議会 地域福祉課長	
3	寺 野 徹	新発田市社会福祉協議会 事務局長	
4	佐 藤 めぐみ	燕市社会福祉協議会 地域福祉課係長	
5	坂 大 優	魚沼市社会福祉協議会 地域福祉課長	
6	荒 井 武 士	聖籠町社会福祉協議会 地域福祉推進センター長	

② 検討委員会の開催

期日・場所等	内 容
第1回 4月22日 柏崎市	(1) これまでの取組みについて (2) 今後の方向について (3) 意見交換
第2回	(1) 地域福祉推進セミナーの開催について

7月5日 聖籠町	(2) 市町村社協向け「地域アセスメント導入ガイドライン」(仮称)の策定について (3) 意見交換
第3回 12月20日 新潟市	(1) 「第2回検討委員会」及び「地域福祉推進セミナー」の振り返りについて (2) 「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」(仮称)の策定について (3) 今後のスケジュールについて (4) 意見交換
第4回 3月9日 新潟市	(1) 「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」(仮称)の策定について (2) 意見交換
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催中止	

③ 現状と課題に関する調査

ア 市町村社協における地域福祉課題の抽出や解決方法などの取組に関する調査の実施

・ フィールド調査

区分	内 容
調査目的	市町村社協への訪問によるヒアリングを通して、地域福祉に関する活動状況の把握と課題について整理するため。
調査方法	実地踏査
調査先等	【第1回】H31.4.22 柏崎市社会福祉協議会 【第2回】R1.7.5 聖籠町社会福祉協議会

④ 地域福祉推進セミナーの開催

ア 地域アセスメントに基づく地域支援の必要性について理解を深めるとともに、「地域アセスメントを取り入れた地域福祉活動推進ガイドライン」(仮称)策定に向けた内容の充実を図るため、各市町村における地域福祉活動の実状を関係者間で共有することを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
9月6日 長岡市 (参加者57名)	基調報告 ①新潟県社協における「地域共生社会実現に向けた地域福祉活動の展開に関する検討」の取り組みについて ②県内市町村社協に対する「地域福祉活動現況調査」の結果について 報告者：いずれも新潟県社会福祉協議会地域福祉課 講義 「地域アセスメントに基づいた地域支援の展開」

	日本社会事業大学 社会福祉学部 准教授 菱沼幹男 実践報告「県内市町村社協における地域福祉活動の実践事例」 発表者：新発田市社会福祉協議会 事務局長 寺野徹 発表者：長岡市社会福祉協議会 地域福祉課長 本間和也 コーディネーター・講評：日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 情報交換 「地域アセスメントに基づいた地域支援の現状と課題」 グループワーク講評：日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男
--	--

(5) 市町村社協における「新型コロナウイルス感染症」への対応状況照会

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う県内市町村社協における現状や対応等について、照会し情報を提供した。 調査日：令和2年3月18日

推進目標3 ボランティア活動の振興

1 ボランティア活動・社会貢献活動推進事業

(1) ボランティア活動の推進

① ボランティアグループ等活動実態調査

令和2年度に実施する「市町村社協実態調査」と一体的に実施することとし、今年度は実施を取り止めた。

(2) 災害救援活動の推進

① 災害救援活動に関する人材養成事業（研修開催）

災害救援活動を的確に遂行できる社協職員の養成を目的に研修会を開催した。

[災害支援コーディネーター養成研修会初級編（特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク、新潟県災害ボランティア調整会議と共催）]

[災害支援コーディネーター養成研修会中級編、上級編（新潟県災害ボランティア調整会議と共催）]

ア 初級編

期日・場所等	内 容
12月21～22日 新潟市 (参加者33名)	<1日目> 講義『災害支援とは』 (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 講義『初級研修のねらい』 (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 講義『災害ボランティアセンターの基礎』 (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也 講義『被災者と向き合った支援』 (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 <2日目> 1日目の振り返り (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也 ワーク「被災者のニーズをキャッチする」 (特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也

	<p>中越防災安全推進機構地域防災力センターコーディネーター 松井 千明</p> <p>新潟県国際交流協会主事 佐藤 美帆</p> <p>くびき野 NPO サポートセンター主任 新保 絵梨</p> <p>新潟市北区社会福祉協議会 主査 岡村 陽平</p> <p>魚沼市社会福祉協議会小出・湯之谷支所 主任 富永 洋介</p> <p>初級2日間の振り返り</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也</p>
--	--

イ 中級編

期日・場所等	内 容
1月22～23日 新潟市 (参加者28名)	<p><1日目></p> <p>講義「中級研修のねらい」</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也</p> <p>講義「災害支援における人・物・資金」</p> <p>新潟県社会福祉協議会 主事 清川 祐介</p> <p>「避難被災者を支える」</p> <p>福島大学 研究員 北村 育美</p> <p>「多様なセクターとの連携の必要性と支援者に求められること」</p> <p>JVOADシニアコンサルタント 園崎 秀治</p> <p><2日目></p> <p>1日目の振り返り</p> <p>胎内市社会福祉協議会 主事 河内 篤</p> <p>中越防災安全推進機構地域防災力センターコーディネーター 松井 千明</p> <p>講義「災害ボランティアセンターにおける広報と情報発信・管理」</p> <p>サイボウズ株式会社 柴田 哲史</p> <p>講義・ワーク「ファシリテーション」</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>講義・ワーク「事例検討」</p> <p>中越防災安全推進機構地域防災力センターコーディネーター 松井 千明</p> <p>くびき野 NPO サポートセンター主任 新保 絵梨</p> <p>新潟市北区社会福祉協議会 主査 岡村 陽平</p> <p>魚沼市社会福祉協議会小出・湯之谷支所 主任 富永 洋介</p> <p>中級2日間の振り返り</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>(特非)にいがた災害ボランティアネットワーク理事 野村 卓也</p> <p>チーム中越事務局長 河内 毅</p>

ウ 上級編

期日・場所等	内 容
2月18日 新潟市 (参加者18名)	<p><1日目></p> <p>講義「上級編“現場実践プレコース”研修のねらい」</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄</p> <p>講義「先遣隊とは」</p>

	にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 パネルディスカッション「先遣活動」 コーディネーター にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 パネリスト (株)野村防災 代表取締役 野村 祐太 胎内市社会福祉協議会 主事 河内 篤 新潟県社会福祉協議会 課長代理 佐藤 正弥 講義「災害VCの立ち上げ」 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄
--	---

② 県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定締結社協の連絡名簿の整備

災害時において連絡調整を円滑に行うため、相互支援協定締結社協の連絡名簿を更新整備した。

③ 大規模災害に備えた市町村社協組織運営に関する重要書類の保管

大規模災害等で書類紛失に備え、県内全市町村社協の組織運営に関する重要書類である定款及び諸規程、役員名簿、事業実施報告書及び決算書、事業実施計画書及び予算書の保管、整備を行った。

④ 県内における豪雪への対応

県内の豪雪に対応するため、新潟県内における積雪・降雪及び被害状況、除雪ボランティア募集情報、除雪ボランティア活動状況などに関する情報の収集及び発信に努めた。

⑤ 「県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定」に基づく「山形県沖地震」及び「台風19号災害」被災地支援のための職員派遣及び被災地支援活動

ア 村上市社会福祉協議会への運営支援者の派遣

村上市社協からの支援要請に基づき、「村上市社会福祉協議会山北支所 ゆりはな相談所」に職員の派遣を行った。

期間	社協名	派遣職員数	支援業務内容
6月19～7月1日	新潟県社協 胎内市社協	延19名 延4名	相談所立ち上げ支援、ニーズ聞き取り・高齢者等世帯訪問活動、データ入力等

イ 阿賀町社会福祉協議会への運営支援者の派遣

台風19号災害における阿賀町内での災害ボランティア活動支援のため、職員の派遣を行った。

期間	社協名	派遣職員数	支援業務内容
10月15日	新潟県社協	1名	ボランティア活動団体の受入調整、活動現場等確認

ウ 災害発生時におけるボランティア活動に関する情報収集及び発信

被災地支援を行うため、市町村社協及び災害ボランティア関係団体にメール情報の配信を行った。

⑥ 「関東甲信越静岡ブロック都県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定」等に基づく「台風15号、台風19号災害」被災地支援のための職員派遣及び被災地支援活動

被災地の災害ボランティアセンターの運営支援等を行うため、県社協及び県内市町村社協職員の派遣を行った。

ア 災害ボランティアセンターの支援活動

派遣先	期間	支援社協名	人数	支援内容
千葉県館山市災害VC	9月29～10月11日	新潟県社協 長岡市社協 村上市社協 南魚沼市社協	延38名	事業班（受付・報告、マッチング、オリエンテーション）
長野県飯山市災害VC	10月18～27日	新潟県社協 柏崎市社協 新発田市社協 妙高町社協 魚沼市社協	延21名	オリエンテーション、マッチング、送り出し
長野県長野市災害VC	10月28～12月16日	新潟県社協 長岡市社協 新発田市社協 見附市社協 燕市社協 阿賀野市社協 魚沼市社協	延52名	受付、オリエンテーション、送り出し、団体受付

イ 災害ボランティアバスのコーディネーター派遣

新潟県災害ボランティア調整会議が主催する災害ボランティアバスに、職員をコーディネーターとして派遣した。

運行日	活動先	ボランティア数	派遣職員数	活動内容
11月16日	福島県郡山市	17名	県社協1名、県2名	バスの添乗及び被災地でのボランティア
11月23日	長野県長野市	34名	県社協1名、県2名、NPO協会1名	活動支援

ウ 県外における災害への対応

全社協並びに関東ブロック都県政令指定都市社協、県内市町村社協との連携のもと、被害状況、災害ボランティアセンターの開設状況、災害ボランティアバス運行状況等に関する情報を収集及び発信した。

エ 緊急小口資金貸付業務支援

派遣先	期間	支援社協名	人数	支援内容
長野市社協	11月5～8日	新潟県社協 新潟市社協	2名	災害特例による緊急小口資金貸付業務の支援

オ 災害ボランティアセンター活動資金の寄付

災害ボランティアセンター活動資金として、宮城県社協、福島県社協、栃木県社協、千葉社協、長野県社協へ寄付を行った。

(3) 市町村社協災害ボランティア担当者会議（市町村社会福祉協議会BCPガイドライン策定研修）（再掲）

災害時に社協が求められている支援活動をいち早く展開できるように、事業継続計画（BCP）の策定を推進することを目的に研修会を開催した。

期日・場所等	内 容
2月4日 新潟市 (参加者36名)	講義「市町村社会福祉協議会事業継続計画（BCP）ガイドライン」 （株）浜銀総合研究所 主任コンサルタント 江嶋 哲也 講義 「社会福祉協議会の災害支援活動における現状と課題」 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文 講義 「災害時に備える社会福祉協議会における福祉的事業継続計画の策定に向けて」 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文

(4) 民間社会福祉施設備品整備助成事業

民間社会福祉施設の備品等整備の充実を支援するため、社会福祉基金の運用益を助成した。

助成件数・額	助成対象備品・助成施設種別
9件 1,990,000円	[助成対象備品] 利用者へのサービス向上につながる備品の整備 [助成施設種別] 救護施設・障害者支援施設（施設入所支援） 障害者共同生活援助（グループホーム）

(5) 県民たすけあい基金運用益助成事業の推進

管理運営委員会において、基金の管理・運営・基金助成事業の実施方策等を審議し、基金事業の適正な管理・運営並びに助成事業の効果的な実施に努めた。

① 県民たすけあい基金管理運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 7月23日 新潟市	[協議事項] ・交代委員の紹介 ・平成30年度助成事業実施状況及び収支決算 ・令和元年度収支予算について

② 県民たすけあい基金運用益助成事業

ボランティアグループ等の活動を支援するため、活動に必要な経費を助成した。

助成事業	助成件数	金額(円)
ボランティアグループ・団体が行う活動事業	51	11,635,000
学習・研修事業	(2)	(414,000)
福祉教育・啓発事業	(14)	(3,326,000)
調査研究事業	(1)	(300,000)
活動に必要な機器等整備事業	(17)	(3,648,000)
サービス活動事業	(17)	(3,947,000)
市町村社協・ボランティアセンターが行うボランティア活動振興事業	3	821,000
学習・研修事業	(1)	(296,000)
福祉教育・啓発推進事業	(0)	(0)
災害ボランティア活動推進事業	(1)	(375,000)
その他試行的・モデル的事业	(1)	(150,000)
ボランティア活動の拠点整備事業	(0)	(0)
東日本大震災避難者支援団体が行うボランティア活動振興事業	0	0
東日本大震災避難者支援事業	(0)	(0)
自殺予防支援事業	4	1,200,000
自殺予防支援事業	(4)	(1,200,000)
県社協が行うボランティア活動振興事業	2	2,500,000
ボランティア活動振興事業	(2)	(2,500,000)
合 計	60	16,156,000

(6) 寄付等の受入調整

企業等の社会貢献活動が積極的に行われるよう、福祉の現状等の情報を企業等へ提供するとともに寄付・寄贈や招待事業などの調整を行った。

寄付種別	寄付内容・寄贈配分先
現金28件 8,098,132円	災害準備積立金 1件 500,000円 社会福祉施設等指定寄付金 5件 3,313,700円 (助成件数 29件(障害9、児童1、災害関係1、ボランティア団体18件へ寄付)) 大光銀行私募債 14件 589,000円 新潟県社会福祉協議会への事業 6件 1,557,132円 新潟県社会福祉協議会(障害) 1件 2,100,000円 新潟県社会福祉協議会へ事務手数料(17件) 38,300円
物品8件	寄付物品：車両、すし折詰、カップ麺、車椅子等施設備品、招待チケット、マスク他 寄付先：新潟ユニゾンプラザ介護実習室1件 福祉施設65件、NPO法人他10件
商品9件	株式会社セブン-イレブン・ジャパン、新潟県、新潟県社会福祉協議会

	<p>の三者協定による社会貢献活動商品寄贈</p> <p>阿賀町社会福祉協議会 田上町社会福祉協議会 新潟県社会福祉協議会 柏崎市社会福祉協議会 村上市社会福祉協議会 新潟市社会福祉協議会 新発田市社会福祉協議会 新潟県社会福祉協議会</p> <p>(フードバンク2件、児童養護施設、母子支援施設2件、新潟県母子寡婦福祉連絡協議会、新潟 NPO 協会)</p> <p>株式会社セブン-イレブン・ジャパン、新潟県社会福祉協議会の二者協定による社会貢献活動商品寄贈</p> <p>新潟県社会福祉協議会</p> <p>(子ども食堂3件、新潟県母子寡婦福祉連絡協議会、新潟 NPO 協会)</p>
--	--

(7) 寄付のマッチング事業（ファンレイジング福祉にいがた）

寄付の文化の醸成と、地域の福祉課題を共感と参加により課題解決に結びつけていく仕組みとして寄付のマッチングサイト（ファンレイジング福祉にいがた）を運営した。

**(8) 活動の担い手養成等に関するセミナー（新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づく事業）
「にいがた健康いきいきセミナー2019」の開催**

期日・場所等	内 容
12月3日 新潟市 (参加者50名)	講義「平均寿命と健康寿命 ～今日からできること～」 新潟医療福祉大学診療放射線学科 准教授 大徳 尚司
12月12日 新潟市 (参加者59名)	講義「齢をとると膝が痛くなる理由」 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 教授 大森 豪

(9) 福祉教育の推進

○① 令和元年度福祉教育推進セミナーの開催

地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の職員として福祉教育の基本的な考え方を学ぶとともに、少子高齢社会における家族や家庭環境の変容等を踏まえた効果的な福祉教育を推進するための実践力を身に付けることを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
10月11日 新潟市 (参加者17名)	報告「県内市町村社協における福祉教育推進に向けた取組状況」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 講義「福祉教育の基本的な考え方」 新潟医療福祉大学 准教授 青木 茂

	<p>グループワーク「福祉教育を効果的に推進するにあたり課題となっていること」</p> <p>全体会・グループ成果の発表</p> <p style="text-align: right;">講評 新潟医療福祉大学 准教授 青木 茂</p>
--	---

(10) 大学生・高校生等ヤングボランティア応援プロジェクト

県内大学及び高等学校のボランティア活動取材し、機関誌「福祉にいがた」に掲載した。

[機関誌「福祉にいがた」ボランティア活動掲載高等学校等]

- ・ 4月 小千谷高等学校文化福祉部（家庭部）
- ・ 6月 新井高等学校社会科クラブ
- ・ 7月 新潟中央高等学校JRC部
- ・ 9月 新発田中央高等学校ボランティア部
- ・ 10月 五泉高等学校ボランティア同好会
- ・ 11月 長岡向陵高等学校福祉委員会、新潟県高等学校文化連盟ボランティア講習会
- ・ 1月 佐渡総合高等学校ボランティア部
- ・ 2月 西新発田高等学校ボランティア部
- ・ 3月 新潟西高等学校ボランティア部

推進目標 4 関係機関・団体との連携・支援の推進

1 関係機関・団体との連携・支援事業

(1) 種別協議会や当事者団体等の連携・調整

① 福祉団体等懇談会

県内の福祉団体が相互の連携を深め、情報交換を図ることを目的に懇談会を開催した。

期日・場所	協 議 事 項
第1回 6月10日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政説明 新潟県福祉保健部長 藤山 育郎 ・ 情報交換、懇談
第2回 2月17日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度新潟県福祉団体共同要望への対応状況について ・ 行政説明 新潟県福祉保健部福祉保健課長 土田 まゆみ ・ 情報交換、懇談

② 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言・要望活動

ア 県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動

期日・場所	出 席 者
12月24日 新潟市	<p>[要望先]</p> <p>新潟県知事 花角 英世</p> <p>新潟県福祉保健部長 藤山 育郎</p> <p>[出席者名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟県社会福祉協議会会長 竹内 希六 ・ 新潟県民生委員児童委員協議会会長 長谷川 剛 ・ 新潟県老人福祉施設協議会会長 高橋 是司

・新潟県老人クラブ連合会会長	光村 利寛
・新潟県身体障害者団体連合会常務理事	田代 健一
・新潟県手をつなぐ育成会理事長	五十嵐 勝彦
・新潟県精神障害者家族会連合会理事長	江口 道夫
・新潟県母子寡婦福祉連合会会長	中野 キシ子
・新潟県社会福祉士会会長	星井 勝博
・新潟県介護福祉士会会長	宮崎 則男

③ 福祉団体の活動への共催・後援・協力等

期日・場所	大会名・団体名
4/17 新潟市	JA バンク 県信連ホームヘルパー支援基金贈呈式 (新潟県信用組合連合会)
5/10 新潟市	新潟県中越大震災復興基金理事会 (新潟県中越大震災復興基金)
5/15 新潟市	第20回新潟県障害者スポーツ大会 (新潟県)
5/16 新潟市	第69回社会を明るくする運動新潟県推進委員会 (社会を明るくする運動新潟県推進委員会)
5/24、8/29、10/31 新潟市	ヘルスプロモーションプロジェクト会議 (新潟県)
5/24 胎内市	第64回新潟県保育事業研究大会 (新潟県保育連盟)
5/28 新潟市	深めよう絆にいがた県民会議 (深めよう絆にいがた県民会議)
5/31 新潟市	新潟県青少年健全育成県民会議総会 (新潟県青少年健全育成県民会議)
6/1 新潟市	子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン In 新潟 (あすのぼ)
6/6 新潟市	新潟県精神障害者家族会連合会令和元年度式典 (新潟県精神障害者家族会連合会)
6/11 新潟市	新潟県交通安全対策連絡協議会総会 (新潟県交通安全対策連絡協議会)
6/16 新潟市	全国障害者問題研究会新潟支部子どもの発達講演会 (全国障害者問題研究会新潟支部)
6/20~7/19	新潟県薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (新潟県薬物乱用対策推進本部)
6/30 新潟市	第24回新潟県手をつなぐ育成会新潟大会 (新潟県手をつなぐ育成会)
7/6 新潟市	ソーシャルワーカーデー in にいがた2019 (新潟県社会福祉士会)
7/7 新潟市	第61回新潟県母子寡婦福祉大会 (新潟県母子寡婦福祉連合会)
7/18 新潟市	第52回新潟県身体障害者福祉大会 (新潟県身体障害者団体連合会)
8/1~	手足の不自由な子どもを育てる運動 (新潟県肢体不自由児協会)
8/21 湯沢町	第30回南魚沼地区社会福祉大会 (南魚沼地区社会福祉大会実行委員会)
9~ 新潟市	第69回社会を明るくする運動新潟県推進委員会作文コンテスト (新潟保護観察所)
9/7 新潟市	第16回新潟県障害者技能球技大会 (高齢・障害・求職者雇用支援機構)
9/10 糸魚川市	第24回新潟県老人福祉施設研究大会 (新潟県老人福祉施設協議会)
9/13 新潟市	新潟県住宅防火対策推進協議会 (新潟県)
9/27 新潟市	関東弁護士会連合会2019年度定期弁護士大会シンポジウム (関東弁護士連合会)
9/28 小千谷市	社会福祉法人ほのぼの小千谷福祉会20周年記念式典 (社会福祉法人ほのぼの小千谷福祉会)
9/28~9/29 長岡市	来て、見て、学ぼう!みんなの防災フェア&スマートエネルギーフェア2019 (テレビ新潟放送網)
10/5 村上市	部落解放第36回新潟県研究集会 (新潟県研究集会実行委員会)

10/5～6 長岡市	第61回北信越ろうあ者大会、第45回北信越手話通訳問題研究集会	(実行委員会)
10/9 新潟市	第55回新潟県老人福祉大会	(新潟県老人クラブ連合会)
10/9 見附市	第36回がん征圧新潟県大会	(新潟県健康づくり財団)
10/10 新潟市	第19回全国障害者スポーツ大会新潟県・新潟市選手団結団式	(新潟県)
10/12 魚沼市	魚沼市社会福祉協議会15周年記念魚沼市社会福祉大会	(魚沼市社会福祉協議会)
10/14 新潟市	第24回真柄ふれ愛トーク&コンサート	(真柄福祉財団)
10/14 新潟市	赤い羽共同募金応援チャリティゴルフコンペ	(新潟県共同募金会)
10/19・20 新潟市 ・長岡市・上越市	専門語を使わない障がいのある子の「親なきあと」の「お金」の話	(小川会計相談支援センター他)
10/23 新潟市	実家の茶の間紫竹開設5周年お祝い会	(実家の茶の間紫竹・新潟市)
10/27 村上市	第43回新潟県聴覚障害者球技大会	(新潟県聴覚障害者協会)
10/29 長岡市	第42回北越銀行賞表彰式	(北越銀行)
10/31 新潟市	第6回新潟県高等学校ボランティア大会	(新潟県高等学校文化連盟)
10/31～11/1 上越市	第72回全国人権・同和教育研究大会兼第28回新潟県同和教育研究集会	(新潟県実行委員会)
11/3 湯沢町	第10回湯沢町ふれあい福祉健康フェスティバル	(ふれあい福祉健康フェスティバル実行委員会)
11/6 新潟市	第67回たすけあい作文コンクール表彰式	(新潟県共同募金会)
11/10 新潟市	第13回東日本大震災チャリティグッズイベント「百花繚乱2019」	(新潟恩返しプロジェクト)
11/10 三条市	第15回三条市民福祉大会	(三条市社会福祉協議会)
11/16～17 上越市	第33回言友会中部大会 In にいがた・上越	(にいがた言友会)
11/25 新潟市	新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会総会	(新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会)
12/14 新潟市	第1回新潟県リハビリテーション学術大会	(第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会)
12/14 長岡市	介護者の支援を考える集い Part2	(長岡) 介護者の支援を考える会)
12/22 新潟市	こども食堂ボランティア講座	(にいがた子育てステーション)
12/22 胎内市	令和元年度胎内市社会福祉大会	(胎内市社会福祉協議会)
1/16 新潟市	深めよう絆にいがた県民会議	(深めよう絆にいがた県民会議)
1/28 新潟市	福祉のまちづくり施策推進会議	(新潟県)
2/5 新潟市	JAバンク県信連ホームヘルパー支援基金運営委員会	(新潟県信用組合連合会)
2/10 新潟市	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会総会	(新潟県実行委員会)
2/13 新潟市	24時間テレビ42福祉車両贈呈式	(24時間テレビチャリティー委員会)
2/14 新潟市	がん治療と就労両立支援セミナー	(新潟県健康づくり財団)
2/22 新潟市	行政書士による相続セミナー	(新潟県行政書士会)
3/7 新潟市	令和元年度新潟県医療社会事業担当者研修会	(新潟県医療ソーシャルワーカー協会公開講座) (新潟県医療ソーシャルワーカー協会)
3/16 新潟市	令和元年台風19号災害義援金配分委員会	(新潟県)

(2) 全国・関東ブロック研修会等本県開催の支援・協力

① 第65回関東甲信越静里親協議会新潟大会

7月21日 新潟市(参加者数534名) 基調講演、分科会等

② 第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術文化祭にいがた大会

9月15日～11月30日 県内全域179事業、参加者2,882,977人

③ 第61回北信越ろうあ者大会・第45回北信越手話通訳問題研究集会

10月5日～6日 長岡市(参加者数311名) 式典、研究集会等

(3) 福祉団体業務受託等支援・協力

福祉団体の事務局業務を受託し、運営・活動の充実に支援・協力した。

- ・新潟県社会福祉法人経営者協議会
- ・新潟県社会福祉法人経営青年会
- ・新潟県内社協職員連絡会
- ・新潟県災害ボランティア調整会議
- ・新潟県社会就労センター連絡協議会

2 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進

平成26年3月、県内福祉関係10団体(R2.3月現在14団体)が横断的に連携した「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」が発足し、災害福祉支援チームの派遣をはじめとした活動を連携・協力して行い、災害時における要配慮者の安全・安心の確保に向けて活動している。

(1) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会総会・幹事会の開催

期日・場所等	協 議 事 項
総会 6月17日 新潟市	[主な検討・協議事項] ・平成30年度事業報告及び決算報告について ・令和元年度事業計画案及び当初予算案について ・構成団体の加入について
幹事会 第1回 5月30日 第2回 12月23日 第3回 3月24日 新潟市	[主な検討・協議事項] ・新潟県新潟市総合防災訓練について ・基礎研修の実施について ・災害福祉支援チーム企画運営委員会の設置について ・災害福祉広域支援セミナーについて ・新潟県内外における災害に対するネット協の対応について ほか
※第3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止	

(2) 災害福祉支援チーム員基礎研修の開催

期日・場所等	内 容
9月9～10日	【講義】

新潟市 (受講者33名)	「チームに求められる役割」	東北福祉大学	教授	都築 光一
	「被災地でのチーム活動」			
		新潟県社会福祉協議会	福祉人材課	主事 渡邊 貴浩
		新潟県福祉保健部福祉保健課企画調整室	政策企画員	小林 圭
	「チーム員の活動マニュアル」			
		新潟県社会福祉協議会	福祉人材課	主事 渡邊 貴浩
	「支援活動の実際」	岩手県社会福祉協議会	主査	加藤 良太
	【図上訓練】			
	「シミュレーション訓練」			
		岩手県社会福祉協議会	主査	加藤 良太 ほか

(3) 災害福祉支援チーム員スキルアップ研修Ⅰの開催

期日・場所等	内 容
3月6, 11, 12日 新潟市 ※新型コロナウイルス 感染症拡大防止 の観点から開催 中止	【講義】 「基本事項・近年の動向」 「活動マニュアルの留意事項」 「被災地でのチーム活動（対象者の理解・連携のあり方について学ぶ・活動記録の方法・アセスメントやスクリーニングの方法）」 東北福祉大学 教授 都築 光一 【図上訓練】 「シミュレーション訓練（先遣隊・チーム派遣・スクリーニング・アセスメント・カンファレンス・引継）」 東北福祉大学 教授 都築 光一 ほか

(4) 災害福祉広域支援セミナーの開催

期日・場所等	内 容
3月24日 新潟市 ※新型コロナウイルス 感染症拡大防止 の観点から開催 中止	【基調講演】 「台風第19号に関する災害福祉支援について」 NPO 法人さくらネット 代表理事 石井布紀子 【パネルディスカッション】 「台風第19号災害の避難所での災害派遣福祉チームの活動から、見えてきた課題や今後の展望について考える」 コーディネーター NPO 法人さくらネット 代表理事 石井布紀子 パネリスト 長野県社会福祉協議会（長野県福祉チーム） 橋本 昌之 社会福祉法人邑友会（ぐんま DWAT） 南川 基治

(5) 防災訓練への参加・協力

期日・場所等	内 容
10月12日 新潟市	【新潟県・新潟市総合防災訓練】 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会及び災害福祉支援チームの活

※台風第19号の影響により中止	動紹介や福祉避難所等に関するパネル展示による啓発活動
-----------------	----------------------------

(6) 災害福祉支援チームの活動体制の整備・強化に向けた取り組み等

【主な内容】

- ・ 東北福祉大学地域福祉研究室運営委員会への参加
- ・ 北関東磐越災害福祉広域支援ネットワーク検討会への参加
- ・ チーム研修・訓練用備品等の整備

基本方針Ⅱ 一人ひとりの自立生活づくり

推進目標 1 高齢者の社会参加の促進

1 明るい長寿社会づくり推進事業

(1) 長寿社会振興センター運営協議会

期日・場所	協議事項
3月11日 新潟市 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止	<ul style="list-style-type: none"> ・議長の選出について ・令和元年度事業実施状況について ・令和2年度事業計画について

(2) 第24回にいがたねりんピック

高齢者のスポーツ大会を通じ、ふれあいと活力ある長寿社会の実現をめざすことを目的に開催した。

期日・場所	内容
4月21～10月13日 県内10市村 (参加者1,028名)	[スポーツ交流大会] <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目13種目（ゲートボール、テニス、ペタンク、ソフトボール、ソフトバレーボール、ゴルフ、卓球、ソフトテニス、弓道、バウンドテニス、剣道、太極拳、ダンススポーツ） ・全国健康福祉祭への派遣選手選考

(3) 全国健康福祉祭（ねんりんピック）派遣

全国健康福祉祭（ねんりんピック）に選手を派遣した。

期日・場所等	内容
11月9～12日 和歌山県 (102名派遣)	[県選手団結団式] 11月8日、和歌山市「双子島荘」 [参加種目] <ul style="list-style-type: none"> ▶スポーツ交流大会(10種目：卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道) ▶ふれあいスポーツ交流大会(4種目：太極拳、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ダンススポーツ) [主な成績] マラソン男子70歳未満10キロ：3位

(4) 世代間交流（福祉・介護・健康フェア2019同時開催）

高齢者の健康及び文化活動を通じて、地域間、世代間のふれあいと交流を図り、高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進を目的に開催した。

期日・場所等	内 容
11月17日 新潟市	<p>[交流ブース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ病院（おもちゃドクター）によるおもちゃ修理（受付10件） 木工教室（参加者241名） 新潟の木工道 代表 大沢 博雄、他スタッフ8名 ・健康&体力測定による効果的運動のアドバイス（参加者359名） 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授 佐藤 敏郎 他学生10名 <p>[講演]</p> <p>「大丈夫だよ、がんばろう！」（参加者400名） 山田 邦子</p>

(5) シニアカレッジ新潟

高齢者に学習の機会を提供することと併せて、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的に、新潟市、長岡市、上越市においてシニアカレッジ新潟を開講した。

① シニアカレッジ新潟運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
12月17日 新潟市	<p>[報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度シニアカレッジ新潟の運営状況について <p>[協議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度シニアカレッジ新潟の運営について

② 実施講座

講師：弁護士、医師、大学教授、薬剤師、管理栄養士、介護福祉士、NPO 関係者等で構成。

期日・修了者等	内容（講座数、講義等）
基礎応用課程1年次 5～10月 (13日間17講座) (修了者167名)	社会・生活、健康、福祉、地域活動、特別講座の5分野で構成 新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス
基礎応用課程2年次 4～10月 (14日間17講座) (修了者124名)	社会・生活、健康、福祉、地域活動、特別講座の5分野で構成 新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス
実践講座「傾聴ボランティアコース」 7月 (3日間) (修了者23名)	講義・演習 ・傾聴の基本 ・寄り添うことをめぐって ・傾聴ロールプレイ／つながりのワーク ・こころの健康 ・ボランティア活動「地域での見守り活動」
実践講座「暮らしと環境食育コース」	講義 ・食育について

9月 (3日間) (修了者26名)	<ul style="list-style-type: none"> 新潟の農業の現状について 新潟の地産地消について 3日間を振り返って調理実習
実践講座「地域の茶の間体験コース」 9月 (2日間) (修了者9名)	講義 <ul style="list-style-type: none"> 地域の中で私が役立つこと 活動体験 <ul style="list-style-type: none"> 訪問先：実家の茶の間・紫竹
実践講座「まちかどふれ愛英会話コース」 6～7月 (4日間) (修了者42名)	講義 <ul style="list-style-type: none"> 声のかけ方、たずね方 お困りの外国人への道案内 新潟の観光地や名産品を伝えてみよう 実際に外国の方と話してみよう 総まとめ

③ シニアカレッジ新潟運営協力員の委嘱と運営協力員会議

シニアカレッジ新潟の円滑な運営と高齢者による大学運営の自主性を高めるため、卒業生の中から「運営協力員」を委嘱した。

- ・運営協力員の委嘱者数16名
- ・運営協力員会議の開催（2回開催、11月27日・3月4日）

(6) シニアカレッジ新潟同窓会事業

シニアカレッジ新潟卒業生が一堂に集い、交流を深めるとともに地域活動のリーダーとして仲間づくりや社会活動への参加促進と活動の広がりを図ることを目的に同窓会事業を行った。

① 企画会議

同窓会事業の円滑な運営と卒業生の地域活動への関わりを促すため、シニアカレッジ新潟の卒業生の中から「同窓会事業企画員」を委嘱した。

- ・企画員の委嘱者数10名
- ・企画会議の開催（10回開催、4月～3月）

※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止

② 研修旅行・講演会

期日・場所等	内 容
10月2日～3日 新潟地区	<ul style="list-style-type: none"> 講演会「人・もの・文化をつなぐ新潟港」 講師 新潟県交通政策局 港湾整備課
(参加者) 講演会72名 旅行16名	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生活動事例発表 新潟地区1名、長岡地区1名、上越地区1名 見学先 新潟市歴史博物館、信濃川ウォーターシャトル（乗船）、ビュー福島潟、

③ 広報活動

- ・新潟日報への記事掲載（講演会参加者募集、シニアカレッジ新潟PR）
- ・BSNラジオへの出演（講演会参加者募集、シニアカレッジ新潟PR）
- ・シニアカレッジ新潟HPへの旅行記の掲載（講演会・研修旅行の実施報告）

④ 卒業生が講師となって活躍する場の企画・実施

- ・基礎応用課程2年次の学生に対して、次年度のシニアカレッジ新潟講師を募集したが、応募者が少なく実現には至らなかった。

◎(7) 高齢者等の健康増進・地域福祉参画促進に向けた研究集会

高齢者の自立支援、重度化防止等に向け高齢期を豊かに生きるための方策について、各分野の専門家や実践者からの最新情報や先進事例等を学び、実効ある高齢者施策を考えるための研究討議を行った。（第69回新潟県民福祉大会「研究集会」として開催）

期日・場所等	内 容
10月29日 南魚沼市 (参加者281名)	<p>テーマ 「高齢期における健康で明るい日常生活のために～介護予防とフレイルの関係について～」</p> <p>コーディネーター 新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎 シンポジスト 新潟市福祉部地域包括ケア推進課 課長 関 智雄 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター 折居 千恵子 南魚沼市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 小熊 美佐子</p>

推進目標2 高齢者への生活支援の充実

1 高齢者総合相談センター事業

(1) 相談事業

高齢者とその家族等が抱える生活全般の心配ごとや悩みごとの相談にあたった。

① 相談の概要

一般相談開設日数	専門相談開設日数	相談者数	相談延べ件数
240日 (月平均20.0日)	51日 (月平均4.2日)	1,668名 (月平均139.0名)	2,267件 (月平均188.9件)

② 相談者数・相談種別・相談方法

相談者人数			相談種別		相談方法		
男性	女性	計	一般	専門	電話	来所	手紙
324名	1,344名	1,668名	1,556名	112名	1,558名	109名	1名
19.4%	80.6%	100.0%	93.3%	6.7%	93.4%	6.5%	0.1%

③ 相談内容

家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
797件	358件	793件	177件	13件	129件	2,267件
35.1%	15.8%	35.0%	7.8%	0.6%	5.7%	100.0%

④ 専門家が受けた相談件数

法律 (弁護士)	合計
112件	112件
100.0%	100.0%

⑤ 他機関への紹介や委任件数

行政機関	相談機関	施設等	その他	合計
87件	65件	2件	39件	193件
45.1%	33.7%	1.0%	20.2%	100.0%

(2) 相談業務情報の提供・広報啓発等

① 県社協広報誌やマスコミ等を通じた相談に関する情報提供・広報

- ・ 県社協広報誌「福祉にいがた」「オアシス21」に活動状況等を掲載（年3回）
- ・ 高齢者総合相談センターリーフレット(20,000部)、ポスター(550部)、名刺サイズリーフレット(75,000部)を作成・配布及びNTT電話帳に広告掲載

② 県内各種相談窓口ガイドの作成・情報提供

県内の相談機関の所在情報等を集約したガイド「相談のみちしるべ」を作成し、相談業務等関係者が閲覧できるよう新潟県社会福祉協議会ホームページ上に掲載した。

2 認知症コールセンター事業

(1) 相談事業

認知症の人やとその家族等が抱える心配ごとや悩みごとの相談にあたった。

① 相談の概要

相談開設日数	相談者数	相談延べ件数
240日 (月平均20.0日)	307名 (月平均25.6名)	436件 (月平均36.3件)

② 相談者数・相談種別・相談方

相談者人数			相談方法		
男性	女性	計	電話	来所	手紙
92名	215名	307名	284名	23名	0名
30.0%	70.0%	100.0%	92.5%	7.5%	0.0%

③ 相談内容

家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
26件	6件	6件	88件	5件	305件	436件
6.0%	1.4%	1.4%	20.2%	1.1%	70.0%	100.0%

④ 他機関への紹介や委任件数

行政機関	相談機関	施設等	その他	合計
37件	15件	2件	12件	66件
56.1%	22.7%	3.0%	18.2%	100.0%

(2) 相談業務情報の提供・広報啓発等

① 県社協広報誌やマスコミ等を通じた相談に関する情報提供・広報

- ・ 県社協広報誌「福祉にいがた」「オアシス21」に活動状況等を掲載（年3回）
- ・ 認知症コールセンターセンターチラシ(28,000部)、ポスター(1,250部)、名刺サイズリーフレット(45,000部)を作成・配布
- ・ 新聞・広報紙への記事等掲載、テレビ番組での広報、ラジオスポット放送等の実施

② 関係機関・団体との連携協力

関係機関が実施する会議・研修等に職員や相談員を派遣し、センターの周知や認知症に関する啓発等を行った。

ア 警察学校専科教養における講演

期日・場所	内 容
6月7日 新潟市	・新潟県高齢者総合相談センター、認知症コールセンターについて ・認知症と思われる者に対応する際の言動等の注意点、対応要領について

イ 新潟市地域包括支援センター小新・小針 圏域地域ケア会議への参加

期日・場所	内 容
8月1日 新潟市	テーマ「認知症の方を支える～地域でできること～」 ・話題提供 新潟県認知症コールセンターについて ・グループディスカッション（オブザーバー参加） 「現状と課題について」「解決策の検討」「具体的な取り組みの検討」等

推進目標3 障害者の社会参加の促進

1 福祉の店パレット新潟店運営事業

(1) 店舗販売等

福祉施設で作られた製品の展示・販売を行い、各種イベント等を通して広く県民とのふれあいの場として「福祉の店パレット」を運営し、障害者の就労や生きがい、社会参加の促進

と県民に対する福祉への理解促進に努めた。

- ・新潟ユニゾンプラザ内の常設店での販売実績（総売上額：13,025,536円）

① 運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
3月19日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度売上状況について ・今後の販売促進について 委員宛書面にて報告
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	

(2) 周年祭（福祉・介護・健康フェア2019同時開催）

期日・場所	内 容
11月17日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・契約施設による即売会 参加施設 31施設、販売売上額 658,946円 ・各種イベントの実施 ガラポン抽選会、レジンのアクセサリーづくり、裂織実演、店舗紹介パンフレットの配布 ・「福祉・介護・健康フェア2019」との併催実施

(3) 農福連携マルシェ開催（福祉・介護・健康フェア2019同時開催）

期日・場所	内 容
11月17日 新潟市 朱鷺メッセ	法被の着用、ガラポン抽選会、いろいろな野菜の重さ当てクイズ サイコロでくだもの Get、卵の詰め放題、焼きたてマフィンの実演販売 はちみつの詰め放題実施 店舗紹介パンフレットの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・出店事業所数 7事業所
10月26日 上越市 リージョンプラザ上越	法被の着用、ガラポン抽選会、いろいろな野菜の重さ当てクイズ 店舗紹介パンフレットの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・出店事業所数 5事業所
12月1日 長岡市 ハイブ長岡	法被の着用、ガラポン抽選会、いろいろな野菜の重さ当てクイズ サイコロでくだもの Get、卵の詰め放題、ハーブのクリスマスツリー づくり、店舗紹介パンフレットの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・出店事業所数 12事業所

(4) 授産事業の活性化、自主製品の開発支援

① 授産事業活性化研修会

授産施設職員を対象に、授産製品の品質の向上、安心安全で信頼性のある授産製品づくりや、自主製品の商品価値を高めるためのデザイン（視覚情報）の考え方を学ぶことを目的に新潟県社会就労センター連絡協議会と共催で開催した。

期日・場所等	内 容
9月19日 新潟市 (参加者43名)	講義・演習「デザインから考える“魅力ある商品”づくりセミナー」 IDEKO 代表 小出 真吾

(5) 障害者施設商品のコンプライアンス強化

食品表示法の完全移行に向けて、法令を遵守した安心安全で信頼性のある授産製品の提供のため商品表示の確認作業を行うと共にセミナーの開催を行い注意喚起した。

① 商品表示の確認

期日・場所	内 容
5月21日	現状の商品表示確認作業 54施設、300点
5月22日	1点1点すべてチェック後、修正点を指摘し各施設に送付した。
6月1日	株式会社生活品質科学研究所
新潟市	商品開発サポート本部食品コンサル総括部食品コンサルグループ チーフコンサルタント 高田 かおり

② 食品表示セミナー

期日・場所	内 容
7月9日 新潟市 (参加者88名)	講義・演習 「食品表示セミナー ～食品表示法完全移行に向けて～」 ・表示検査結果について、食品表示法について ・表示基準の主な変更点、加工食品の一括表示の説明 ・加工食品の一括表示の説明 ・加工食品の一括表示説明、表示作成演習1問と解説 ・質問回答 株式会社生活品質科学研究所 商品開発サポート本部食品コンサル総括部食品コンサルグループ チーフコンサルタント 高田 かおり

(6) 障害者施設商品のコンプライアンス強化

福祉現場においてもHACCPの考え方を取り入れた衛生管理が求められることになり、授産製品の品質向上、安心安全で信頼性のある授産製品づくりに向けて、必要な法令を学び、コンプライアンスの徹底を図った。

- ・ HACCP導入に向けたマニュアルハンドブックを作成し、各施設に配布した。
- ・ HACCP導入に向けた製造現場の改善文化構築報告研修会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止

(7) ほっこり冬の縁日

2月16日(日)に、新潟ユニゾンプラザ、図書情報ルーム、福祉の店パレットの共催事業として、地域共生、多世代交流を目的に障害者アート作家、保育園児の絵画を作成し屋外イベント広場、図書情報ルーム入り口側ガラス面に展示するとともに、障害者施設による授産製品の販売、チャリティバザーを行った。

屋外イベント広場等絵画制作者

- ・ 空間デザイナー IDEKO 小出 真吾
- ・ 障害者アート作家 松島 菜月
- ・ 上所こども園園児 80名

- ・愛泉こども園園児 87名
- ・クローバ歩みの家 利用者30名
- ・きまま舎 利用者10名

出店施設 10施設 売上金額 224,673円 (チャリティバザー含む)

当日来場者 600名

(8) 新たな障害者就労×持続可能なビジネスモデルの展開に向けた具体的取り組みの検討・協議

① ワーキング会議の開催

期日・場所等	内 容
第1回 1月21日 新潟市	① 本日の趣旨・目的 ② 出席者自己紹介 ③ 意見交換 ・ 現状・課題 ・ 今後の展開について

推進目標4 生活の安定への支援

1 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業

誰もが地域で安定した生活が送れるよう、市町村社協や民生委員、生活困窮者自立相談支援機関等の関係機関と連携し、低所得者、障害者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金等特例貸付が新たに追加され、休業等により収入の減少した世帯や小学校等の休校措置により児童の養育が必要な方、個人事業主等に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を行った。

- ・生活福祉資金貸付審査等運営委員会

年7回開催・承認件数

福祉資金(福祉費)貸付3件、貸付元利金等の償還免除11件、償還猶予1件

- ・会長専決：・緊急等を要する借入申請について随時貸付決定

総合支援資金0件、福祉資金64件(福祉費10件、緊急小口資金45件、特例緊急小口資金9件)、教育支援資金36件の合計100件

- ・死亡、行方不明等の償還免除申請が不能の債権を随時償還免除決定

貸付元利金等の償還免除111件、延滞利子30件

- ・償還実績：償還額 96,891千円 (当年度償還期限内償還率 75.65%)

① 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金の貸付

【申込・貸付決定実績】

	申 込		貸 付	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
総合支援資金(※)	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0
特例生活支援費	0	0	0	0
住宅入居費	0	0	0	0

一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	72	8,323,000	67	7,790,000
福祉費	15	3,389,000	13	3,118,000
緊急小口資金	48	3,234,000	45	3,072,000
特例緊急小口資金	9	1,700,000	9	1,600,000
教育支援資金	36	14,937,923	36	14,937,923
教育支援費	18	11,383,923	18	11,383,923
就学支度費	18	3,554,000	18	3,554,000
合 計	108	23,260,923	103	22,727,923

② 不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付制度。

- ・ 不動産担保型生活資金審査委員会：年1回開催
 (③要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付審査を含む)

【申込・貸付決定実績】

	件 数	金 額 (円)
申 込	0	0
貸 付	0	0

③ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居を所有し、又は住み続けることを希望する要保護の高齢者世帯に対し、当該不動産を担保とする生活資金の貸付制度。

【申込・貸付決定実績】

	件 数	金 額 (円)
申 込	0	0
貸 付	0	0

④ 臨時特例つなぎ資金の貸付

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対し、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費の貸付制度。

【申込・貸付決定実績】

	件 数	金 額 (円)
申 込	0	0
貸 付	0	0

⑤ 高校生の授業料等滞納に係る教育支援資金の貸付

高等学校の授業料等をやむをえない事情により滞納した場合、滞納時まで遡及して当該滞納額（現在高）の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※①表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	4	717,923
貸付	4	717,923

⑥ 教育支援資金教育支援費における特に必要と認める場合の貸付上限額を超える貸付

教育支援費で特に必要と認める場合に限り、貸付上限額の1.5倍の額まで貸付可能とする貸付制度。

【申込・貸付決定実績】※①表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	1	570,000
貸付	1	570,000

(2) 生活福祉資金等貸付・債権管理

① 初期滞納先に重点を置いた償還指導の実施

② 長期滞納先の個別管理と不良債権の削減

ア 当年度償還債権の償還率

平成30年度(%)	令和元年度(%)	対前年比(%)
74.38	75.65	1.27

イ 初期滞納先の償還指導

償還指導先	滞納解消先	解消率(%)
183	123	67.21

ウ 市区町村社協巡回指導

実施期間	実施市区町村	指導対象人員	指導対象件数
6月～11月	36	108	1,049

エ 不良債権の削減

貸付元金削減額(円)
30,112,129

(3) 生活福祉資金貸付事務担当者研修会

期日・場所等	内 容
5月21日 新潟市 (参加者38名)	説明1「生活福祉資金貸付制度を取り巻く情勢」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 課長 笹川 直樹 説明2・演習「生活福祉資金貸付事業の業務内容」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 課長代理 勢能 涉 説明3・演習「生活福祉資金償還における債権管理」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 相談員 猿子 武志

	説明4・演習「生活福祉資金貸付における相談支援」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 主査 勢能 涉
--	---

(4) 地域福祉コーディネーター研修会

12月17日 ～18日 新潟市 (参加者21名)	説明「新潟県内における地域福祉の推進について」 新潟県社会福祉協議会 地域福祉課 主任 寺口 祐司 講義「地域福祉コーディネーターの役割」 ルーテル学院大学 学長 市川 一宏 実践発表「箕輪町社協における相談支援の取り組み」 箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美 講義・演習「見立てと構想の仕方を考える」 箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美 演習「事例検討」 箕輪町社会福祉協議会地域ふれあいグループ 地域福祉コーディネーター 福祉活動専門員 西澤 智美
-----------------------------------	--

(5) 市町村社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業担当部課長会議

期日・場所等	内 容
3月19日 長岡市 (参加者21名)	説明1「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等特例貸付の実施について」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 課長 笹川 直樹
3月23日 新潟市 (参加者31名)	説明2「新潟県における特例貸付の実施について」 新潟県社会福祉協議会生活支援課 課長代理 勢能 涉 質疑応答

(6) 生活福祉資金相談等体制整備事業

① 生活福祉資金相談員の配置

生活福祉資金貸付制度の体制強化を図るため、生活福祉資金相談体制整備事業として県社協及び市町村社協の相談員に対し助成した。

- ・ 配置社協：23カ所
- ・ 配置人数：33名（県社協2名、新潟市区社協4名、その他市町村社協21社協27名）
- ・ 財源：貸付原資の一部取崩

② 生活福祉資金活動費の交付

民生委員実費弁償費、市町村社会福祉協議会貸付事務費を交付した。

(7) 生活福祉資金制度の周知等

① 生活福祉資金制度の周知

- ・ 新潟県及び新潟県社会福祉協議会HPへの掲載

- ・新潟県教育庁高等学校教育課作成の「奨学金ガイド」への掲載
- ・労働局職業安定部職業対策課作成の「第二のセーフティネット支援ガイド」、「再就職のためのステップアップガイド」への掲載
- ・新潟県多重債務者対策連絡会議作成の「多重債務者支援機関一覧」への掲載

② 関係機関・団体との連携協力

- ・関川村民生委員児童委員協議会主催研修会にて講演（10月1日、関川村）
- ・湯沢町民生委員児童委員協議会研修会にて基調説明（令和2年1月23日、湯沢町）
- ・新潟市北区民生委員児童委員協議会生活福祉資金研修会にて基調説明（令和2年2月15日、新潟市北区）

2 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

資格取得を目指し養成機関に在学するひとり親家庭の親を対象に、入学又は就職への準備資金の貸付けを行い、資格取得及び自立の促進を図った。

(1) 貸付決定実績

	新潟県		新潟市		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
入学準備金	3	1,500,000	2	1,000,000	5	2,500,000
看護師	1	500,000	1	500,000	2	1,000,000
准看護師	0	0	1	500,000	1	500,000
作業療法士	1	500,000	0	0	1	500,000
その他（臨床検査技師）	1	500,000	0	0	1	500,000
就職準備金	3	600,000	2	240,000	5	840,000
看護師	1	200,000	1	40,000	2	240,000
准看護師	0	0	1	200,000	1	200,000
保育士	1	200,000	0	0	1	200,000
介護福祉士	1	200,000	0	0	1	200,000
合 計	6	2,100,000	4	1,240,000	10	3,340,000

3 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業

児童養護施設退所者等を対象に、大学等の進学に伴う生活費や家賃、就職に伴う家賃、又は就職に必要な資格取得への自立支援資金の貸付けを行い、円滑な自立への支援を図った。

(1) 貸付対象者別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
進学者	3	2,400,000	2	930,000	—	—	5	3,330,000
就職者	—	—	0	0	—	—	0	0
資格取得希望者	—	—	—	—	0	0	0	0
合 計	3	2,400,000	2	930,000	0	0	5	3,330,000

※貸付実人員は3名

(2) 出身施設等別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
児童養護施設	2	1,800,000	1	552,000	0	0	3	2,352,000
児童自立支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自立援助ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0
里親	0	0	0	0	0	0	0	0
ファミリーホーム	1	600,000	1	378,000	0	0	2	978,000
合 計	3	2,400,000	2	930,000	0	0	5	3,330,000

※貸付実人員は3名

(3) 貸付金の返還実績

		貸付金の返還	
		件数	金額 (円)
進学者	生活支援費	9	44,260
	家賃支援費	9	25,440
就職者	家賃支援費	0	0
資格取得希望者	資格取得支援費	0	0
合 計		18	69,700

基本方針Ⅲ 利用者主体の福祉サービスづくり

推進目標 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進

1 日常生活自立支援事業<活動指針>

(1) 基幹的社協等の設置

関係機関との連携の下、20事業実施社協のほか、新たに8社協（柏崎市、妙高市、加茂市、見附市、燕市、五泉市、田上町、弥彦村）に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

① 問い合わせ件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	152件	60件	85件	58件	355件
構成比	43%	17%	24%	16%	100%

② 相談件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	5,013件	6,188件	6,113件	317件	17,631件
構成比	28%	35%	35%	2%	100%

③ 契約締結人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
人数	44人	33人	28人	1人	106人
構成比	42%	31%	26%	1%	100%

④ 解約人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
人数	42人	10人	30人	82人
構成比	51%	12%	37%	100%

⑤ 実利用者数

市町村社協	長岡市	上越市	三条市	柏崎市	新発田市	小千谷市	加茂市	十日町市
人数	109人	73人	22人	5人	28人	11人	7人	44人
市町村社協	見附市	村上市	燕市	糸魚川市	妙高市	五泉市	佐渡市	阿賀野市
人数	1人	20人	4人	10人	4人	7人	52人	6人
市町村社協	魚沼市	南魚沼市	胎内市	聖籠町	弥彦村	田上町	阿賀町	出雲崎町
人数	55人	18人	11人	2人	3人	1人	6人	1人
市町村社協	湯沢町	刈羽村	関川村	粟島浦村	合計			
人数	10人	1人	2人	0人	513人			

(2) 契約締結審査会

対象者の契約締結能力等について疑義がある場合の審査、及び契約締結又は継続上の留意点や契約しない場合・解約等に際しての適切な対応方法について、助言を得ることを目的に開催した。

期日・場所	審査内容
5月30日 新潟市	・未成年者との契約について ・平成30年度県内における事業実施状況について
12月17日 新潟市	・保佐人選任に伴う事業の継続支援について ・平成30年度全国における事業実施状況について ・令和元年度県内における上半期事業実施状況について

(3) 巡回訪問

事業実施社協における本事業の適正な実施を図るため、基幹的社協等15か所を訪問し、課題等について意見交換等を行った。

期日・場所	内容
11月16日・佐渡市	(1) 日常生活自立支援事業の実施状況等について ① 平成30年度運営適正化委員会からの改善等申し出事項に関する取り組み状況の確認 ② 実施体制状況の確認 ③ 日常的金銭管理サービス実施状況の確認 (2) 意見交換
11月27日・新発田市	
12月9日・刈羽村	
〃・出雲崎町	
12月20日・加茂市	
〃・田上町	
12月23日・燕市	
〃・弥彦村	
12月24日・魚沼市	
〃・南魚沼市	
1月10日・小千谷市	
〃・見附市	
1月20日・妙高市	
〃・柏崎市	
1月21日・五泉市	

(4) 専門員会議

専門員を対象に、対応困難ケース等に対する適切な支援方策及び業務改善による事務の効率化について共通認識を持つとともに、資質向上を目的に開催した。

期日・場所	協議事項
第1回(35名) 10月2日 三条市	・基調報告 「日常生活自立支援事業の今後の展開に向けて～地域での暮らしを支える意思決定支援と権利擁護について」 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 水谷 詩帆 ・実践報告「日常生活自立支援事業の効果的推進」

	<p style="text-align: center;">南魚沼市社会福祉協議会 生活支援係 係長 青木 知明 湯沢町社会福祉協議会 事務局 主事 阿部 友美</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議 「今後の取り組み課題をどう解決していくか」 ・ケース検討
第2回(40名) 圏域開催 1月27日 新潟市 (14名) 2月3日 長岡市 (26名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調報告 <ul style="list-style-type: none"> ・「令和元年度運営適正化委員会による日常生活自立支援事業実施状況調査の結果について」 ・これからの人材育成について ・グループディスカッション ・ケース検討

(5) 生活支援員研修会

生活支援員を対象に、支援活動に必要な知識や援助技術の習得と資質の向上を目的として開催した。

期日・場所等	内容(説明者、講師等)
11月26日・佐渡市(35名)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「精神障害者の支援とコミュニケーションの取り方」 (公社)新潟県社会福祉士会 理事 本間 奈美 〃 会員 新保 基一 会員 貝沼 奈緒子 会員 宮越 亮 会員 上野 大誠
12月5日・長岡市(54名)	
12月6日・新潟市(49名)	
12月16日・魚沼市(62名)	
12月11日・上越市(46名) (5会場参加者合計246名)	

(6) 市町村社協移行担当者会議

令和2年度からの事業実施を希望する1町社協及びその地域を所管する基幹的社協を対象に、事業の意向に向けた準備等を行うことを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
11月18日・十日町市	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費の配分について ・業務の移管について ・意見交換

(7) 新任専門員研修会

新任専門員を対象に、事業の理解及び専門員業務の習熟を図ることを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
4月22日 新潟市 (参加者35名)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の概要について ・専門員業務マニュアル、関係資料集について ・月次集計、報告について ・本事業と成年後見制度について ・意見交換、質疑応答

(8) 未移行社協への戸別訪問

令和2年度からの事業実施を希望する社協を対象に、事業内容や移行準備内容等を説明することを目的に開催した。

期日・場所	協議事項
11月6日 津南町	・市町村社協実施方式の経過について ・移行に係る業務、委託費の配分等について ・今後のスケジュールについて ・意見交換、質疑応答

◎(9) 新潟県日常生活自立支援事業人材育成プログラム企画会議

当事業従事者の知識・スキルなど資質向上を強化していくことを目的に設置し、開催した。

期日・場所	協議事項
1月8日 長岡市	・事業従事者育成プログラムの構築に係る意見交換 ・今後のスケジュール ・その他 令和元年度第2回専門員会議のプログラムに関する意見交換等
3月2日 長岡市	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止

2 成年後見制度普及促進事業<活動指針>

(1) 成年後見制度市町村長申立推進研修会

① 成年後見制度市町村長申立推進研修会(基礎編)

期日・場所等	内容
7月24日 新潟市 (参加者86名)	講義「市町村長申立ての意義と申立てに係る必要書類について」 藤田善六法律事務所 弁護士 原田 宏一 講義「成年後見制度の診断書の書式の改定等について」 新潟家庭裁判所 家事訟廷管理官 松村 友和 書記官 阿保 和宏

② 成年後見制度市町村長申立推進研修会(応用編)

期日・場所等	内容
10月24日 新潟市 (参加者38名)	講義「成年後見制度利用促進における市町村長申立て」 藤田善六法律事務所 弁護士 原田 宏一 グループワーク「市町村長申立ての実践」 実践報告者 長岡市高齢者基幹包括支援センター 高齢者権利擁護支援員 中野 香織 コーディネーター 藤田善六法律事務所 弁護士 原田 宏一

(2) 成年後見セミナー

① 第1回十日町市成年後見関連業務に関する関係者研修会

[主催：新潟県社会福祉協議会、十日町市社会福祉協議会、十日町市]

期日・場所等	内 容
7月26日 十日町市 (参加者22名)	講義「法定後見と任意後見のメリット・デメリットなど」 いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉

② 第2回後見セミナーin聖籠

[主催：新潟県社会福祉協議会、聖籠町社会福祉協議会、聖籠町]

期日・場所等	内 容
11月15日 聖籠町 (参加者29名)	基調報告「子供をとりまく現状」 報告者 新発田児童相談所 相談課 課長 大原 圭 講義「未成年後見とはどんなこと?～制度説明～」 講師 水内基成弁護士事務所 弁護士 水内 基成 シンポジウム「未成年後見に期待すること、遠いようで近い未成年後見」 登壇者 水内基成弁護士事務所 弁護士 水内 基成 新発田児童相談所 相談課 課長 大原 圭 聖籠町社会福祉協議会 権利擁護サポートセンター センター長 荒井 武士 コーディネーター 新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 教授 小池 由佳

③ 成年後見制度利用促進研修会

[主催：新潟県社会福祉協議会、燕市社会福祉協議会、燕市]

期日・場所等	内 容
2月5日 燕市 (参加者48名)	行政説明「成年後見制度を取り巻く燕市の現状」 説明者 燕市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係 係長 笠原 芳和 調査報告・依頼 「成年後見制度活用に関する実態把握調査から見えた課題と今後について」 報告者 燕市社会福祉協議会 地域福祉課 主幹 吉藤 則彦 燕市 健康福祉部 社会福祉課 障がい福祉係 係長 笠原 芳和 講義「成年後見制度の現状・課題・今後の展望」 中澤泰二郎法律事務所 弁護士 中澤 泰二郎

(3) 成年後見制度訪問検討会

期日・場所等	内 容
柏崎・刈羽会場 10月7日	(1)出席者団体・機関 ・市町村行政（高齢及び障害福祉担当課）

(参加者14名) 三条会場 10月18日	・市町村社会福祉協議会 ・新潟家庭裁判所 ・新潟県弁護士会
(参加者14名) 十日町会場 11月6日	・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート新潟県支部 ・公益社団法人新潟県社会福祉士会 ・新潟県
(参加者16名) 津南会場 11月6日	・新潟県社会福祉協議会 (2)内容
(参加者11名) 上越会場 11月11日	①中核機関・市町村基本計画策定等の取組状況調査報告（新潟県） ②令和元年度成年後見制度に関する実態把握調査結果報告（新潟県社協） ③意見交換 テーマ「市町村における成年後見制度利用促進への取組等について」
(参加者13名) 妙高会場 11月11日	
(参加者17名) 弥彦会場 11月21日	
(参加者12名) 阿賀野会場 11月25日	
(参加者13名)	

(4) 法人後見推進研修会

期日・場所等	内 容
3月5日 新潟市	講義「新潟家庭裁判所に寄せられる相談について」 新潟家庭裁判所 実践報告「法人後見活動から見てきたもの」 NPO法人ふくし後見ネット 副代表 小林 克太郎
※新型コロナウイルス 感染症拡大防止 の観点から開催 中止	講義「法人後見の役割、活動で期待されていること～意思決定支援を踏まえて～」 法テラス埼玉法律事務所 弁護士 水島 俊彦

(5) 法人後見専門員スキルアップ研修会

期日・場所等	内 容
9月26日 新潟市 (参加者36名)	講義「意思決定支援を踏まえた後見活動」 いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉

(6) 法人後見実施団体等における意見交換会

期日・場所等	内 容
9月26日 新潟市 (参加者22名)	講義「成年後見の利用促進をめぐる最近の動き」 いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉 意見交換「事前に募集した意見交換事項に基づき意見交換」

(7) 成年後見制度市町村プロジェクトアドバイザー派遣事業の実施

県内で開催されるプロジェクト会議・検討会等にアドバイザー等として本会職員を派遣

〔アドバイザー派遣〕

- ・胎内市コアメンバー会議：15回

〔各種委員会・会議等への参画〕

- ・村上市成年後見制度利用支援体制検討会：4回
- ・燕市社会福祉協議会福祉後見・権利擁護センター運営委員会：1回
- ・刈羽村社会福祉協議会法人後見運営委員会：1回
- ・長岡市社会福祉協議会成年後見事業運営委員会：2回
- ・聖籠町社会福祉協議会法人後見運営委員会：1回
- ・専門職団体との意見交換：3回

〔各種研修等の講師〕

- ・柏崎市社会福祉協議会市民後見人養成講座：1回

(8) 成年後見制度普及啓発パンフレットの作成

- ・令和2年3月 17,000部

○(9) 成年後見制度に関する実態把握調査の実施

目的	新潟県内における成年後見制度の取り組み状況の把握
調査内容	ア) 新潟県における成年後見関係事件に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：新潟家庭裁判所（回答率100%） イ) 成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村行政（回答率100%） ウ) 社協における法人後見事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村社会福祉協議会（回答率100%）
調査期間	5月～6月
調査結果	・関係機関（市町村・市町村社協・専門職団体等）へ配布 ・本会ホームページに掲載
その他	成年後見制度に関する実態調査（県内市町村のニーズ、受け皿調査）の実施について新潟県及び三士会と検討したが、ニーズ調査を行っている市町村が増えていること等をふまえて調査は行わず、成年後見制度利用促進ニューズレター（新潟県発行）において、市町村におけるニーズ把握等の調査方法を周知した。

(10) 成年後見制度担当者研修会

期日・場所等	内 容
8月6日 新潟市 (参加者76名)	講義「成年後見制度利用促進法の概要と利用促進基本計画について」 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 主査 印牧 薫 講義「市町村における地域福祉計画策定について」 公益社団法人 新潟県社会福祉士会 会長 星井 勝博 講義「成年後見制度利用促進基本計画の策定について」 新潟大学法学部 教授 上山 泰

	<p>シンポジウム</p> <p>「成年後見制度の利用促進を目的とした計画策定について」</p> <p>報告者 埼玉県深谷市長寿福祉課 係長 椎塚 文彦 主任 植竹 尚子</p> <p>東京都港区保健福祉支援部福祉保健課 地域包括ケア推進係 係長 藤田 智</p> <p>コーディネーター 新潟大学法学部 教授 上山 泰</p>
--	--

(11) 成年後見制度利用促進に係る意見交換会

期日・場所等	内 容
第1回 5月29日 新潟市 (参加者15名)	[意見交換事項] ・成年後見制度訪問検討会について ・権利擁護支援ニーズのとらえ方について
第2回 8月27日 新潟市 (参加者15名)	[意見交換事項] ・訪問検討会の進め方について (訪問先、ヒアリング内容、スケジュール、訪問後の対応)
第3回 2月6日 新潟市 (参加者14名)	[意見交換事項] ・令和2年度における各団体の取り組みについて ・今後の成年後見制度利用促進事業の取り組みについて ※参加団体・機関 ・新潟県弁護士会 ・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート新潟県支部 ・公益社団法人新潟県社会福祉士会 ・新潟家庭裁判所 ・新潟県 ・新潟県社会福祉協議会

推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

1 福祉サービス運営適正化委員会事業

日常生活自立支援事業の適正な運営の確保と福祉サービスに関する苦情の適切な解決を図るため「新潟県福祉サービス運営適正化委員会」業務を実施した。

(1) 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の運営

① 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月23日 新潟市	・新委員の小委員会の指名について ・日常生活自立支援事業平成30年度事業実施状況について ・新潟市社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成30年度事業報告について
第2回	・新潟市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業令和2年度事業実施計

3月12日 新潟市	画について ・新潟県社会福祉協議会の日常生活自立支援事業令和2年度事業実施計画について ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会令和元年度事業実施状況及び令和2年度事業実施計画について
--------------	--

② 利用援助事業調査小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月23日・新潟市	・日常生活自立支援事業平成30年度実施状況調査結果に対する取組み状況について ・日常生活自立支援事業令和元年度実施状況調査の方針等について
第2回 9月19日・新潟市	・日常生活自立支援事業令和元年度実施状況調査(書面調査結果・訪問調査実施方法)について
第3回 11月28日・新潟市	・日常生活自立支援事業令和元年度実施状況調査(訪問調査)の結果について
第4回 3月12日・新潟市	・日常生活自立支援事業令和元年度実施主体への結果通知について ・日常生活自立支援事業令和2年度実施状況調査の進め方について

③ 苦情解決小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月23日・新潟市	・苦情解決小委員会委員長の職務代理の選出について ・苦情申出案件の対応について 11件 ・苦情解決体制整備状況調査令和元年度スケジュールについて
第2回 7月25日・新潟市	・苦情申出案件の対応について 10件 ・苦情解決体制整備状況調査令和元年度結果について
第3回 9月19日・新潟市	・苦情申出案件の対応について 9件
第4回 11月28日・新潟市	・苦情申出案件の対応について 15件
第5回 1月23日・新潟市	・苦情申出案件の対応について 9件
第6回 3月12日・新潟市	・苦情申出案件の対応について 8件 ・苦情解決体制整備状況調査令和2年度の進め方について

(2) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

① 受付実績

件数：44件（その他業務上の相談・照会等 142件の対応）

② 事業分野毎の苦情受付・対応状況

【申出人別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
利用者	2	16	0	1	19
家族	14	4	4	0	22
代理人	0	0	0	0	0
職員	2	1	0	0	3
その他	0	0	0	0	0

合 計	18	21	4	1	44
-----	----	----	---	---	----

【内容別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
職員の接遇	6	12	3	0	21
サービスの質や量	4	1	1	0	6
利用料	2	0	0	0	2
説明・情報提供	1	2	0	0	3
被害・損害	1	0	0	0	1
権利侵害	1	1	0	0	2
その他	3	5	0	1	9
合 計	18	21	4	1	44

【対応結果件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
相談・助言	18	20	4	1	43
紹介・伝達	0	0	0	0	0
あっせん	0	0	0	0	0
通知	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0
継続中	0	0	0	0	0
意見・要望	0	0	0	0	0
合 計	18	21	4	1	44

(3) 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催

① 福祉サービスに関する苦情解決担当者等研修会の開催

期日・場所等	内 容
6月26日 長岡市 (参加者204名)	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「安心してご利用いただける職場づくり研修2」 株式会社ツクイスタッフ 山郷 政史

② 福祉サービスに関する苦情解決責任者等研修会の開催

期日・場所等	内 容
10月24・25日 新潟市 (参加者216名)	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「クレームを生まない職場づくり研修」 株式会社ツクイスタッフ 山郷 政史

(4) 苦情解決の仕組みの普及・啓発

① 福祉サービス苦情解決体制整備状況調査の実施

社会福祉施設、事業者における苦情解決体制の整備と苦情の円滑な解決の推進を図ることを目的に、苦情解決体制の整備状況及び対応状況等について県内16カ所の施設を訪問し、調査を実施した。

- ▶ 対象 老人福祉施設3カ所、障害者福祉施設5カ所、児童福祉施設8カ所
- ▶ 内容 苦情解決の仕組みの理解状況、苦情解決体制の整備状況及び第三者委員の設置状況など

② 広報紙等への掲載

- ▶ 新潟県社協機関誌「福祉にいがた」に事業実施状況等に関する記事を掲載
- ▶ 行政等の広報紙に福祉サービス運営適正化委員会案内の広報依頼・掲載
- ▶ 福祉事業者への福祉サービス苦情相談ポスターの配布
- ▶ 新潟県社協ホームページにおいて苦情解決研修等を周知

③ 苦情解決ハンドブックの活用

事業所段階で必要な、苦情解決の取り組みや仕組みなどを掲載し、苦情解決制度の普及啓発を図った。
(新潟県社協ホームページにて配信)

(5) 日常生活自立支援事業実施状況調査の実施

日常生活自立支援事業において取り扱う利用者の預かり物件の管理状況や日常的金銭管理の状況等を確認するため、新潟市社会福祉協議会及び基幹的社会福祉協議会等への訪問調査を実施した。

(6) 令和元年度関東甲信越静岡ブロック運営適正化委員会、委員長等連絡会並びに相談員連絡会への参加

関東甲信越静岡ブロックの1都10県が参集し、運営適正化委員会の事業運営や課題等について協議検討及び情報交換を行い、今後の事業推進を図るとともに相談員相互の連携を深め、資質の向上を図ることを目的に会議に出席した。

期日・場所等	内 容
10月11日 東京都 (参加者30名)	【委員長等連絡会】 新潟県福祉サービス運営適正化委員会 委員長 小泉 一樹 新潟県福祉サービス運営適正化委員会 事務局長 笹川 直樹 協議・情報交換

基本方針Ⅳ 福祉を支える人づくり

推進目標 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

1 福祉人材センター運営事業

(1) 福祉人材センター運営委員会

期日・場所	協議事項
1月16日 新潟市	・令和元年度福祉人材センター事業実施状況について ・令和2年度福祉人材センター事業計画について

(2) 福祉人材無料職業紹介所

福祉施設等への就職を希望する求職登録者とその雇用条件に見合う求人登録福祉施設等に紹介・斡旋する就労支援を行うとともに、福祉・介護人材の確保に取り組んだ。

① 求人、求職の登録・斡旋等の実績

区分	取扱件数	内容
登録	新規求人 7,283名 新規求職 784名	【施設別求人数】 高齢者施設4,697、児童施設2,154、障害者施設328、社協77、その他27 【職種別求人数】 介護職3,212、看護職616、相談・支援・指導員632、保育士927、ホームヘルパー406、介護支援専門員118、セラピスト99、事務職41、調理師233、その他992 【雇用形態別求人数】 正規3,695、常勤的非常勤1,261、非常勤・パート2,327
紹介・採用 (無料職業紹介)	紹介・応募 206名 採用 175名	【職種別採用者数】 介護職員87、相談・支援員44、保育士17、事務職員9、介護支援専門員3、栄養士3、ホームヘルパー3、看護職2、社協専門員1、その他6 【雇用形態別採用者数】 正規109、常勤的非常勤22、非常勤・パート44
インターネット による求人登録 職業紹介	アクセス 9,871件	・パソコン9,853件、モバイル18件
求人求職相談	相談 10,137件	[相談内容] ・求人4,982件、求職5,155件 [相談方法] ・来所4,497件、電話2,999件、FAX146件、郵便1,776件 職場説明会715件
出張相談 (求人求職相談 の再掲)	相談者37名	長岡支所及び上越出張相談での事前予約相談 ・長岡支所24名 ・上越出張相談10名

(3) 啓発・広報事業

① 「介護の日」県民のつどいの開催（福祉・介護・健康フェア2019同時開催）

「介護の日」を契機に広く県民に介護についての理解と認識を深めてもらうことを目的に、新潟県、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護福祉士会及び日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック新潟県部会の主催で開催した。

期日・場所	内 容
11月17日 新潟市 (来場者 1,311名) *福祉・介護・健康フェア全体 17,795名	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の日ポスターコンテスト（介護福祉士養成施設協会:1,000名） ・認知症サポーター養成講座（県介護福祉士会：105名） ・フットケア講座（県介護福祉士会：50名） ・栄養・食事相談コーナー（県栄養士会：21名） ・看護・健康相談コーナー（県看護協会：14名） ・高齢者お悩み相談コーナー（新潟市社会福祉協議会：8名） ・就職相談コーナー（福祉人材センター：113名）

② 「福祉・介護・健康フェア in 長岡」「福祉・介護・健康フェア in 上越」への参加

長岡市・上越市で開催したフェアに人材センターの相談コーナーを設置し、相談を実施した。

- ・令和元年12月8日 長岡市 就職相談コーナー 来場者93名
(福祉・介護・健康フェア in 長岡：来場者4,752名)
- ・令和元年11月6日 上越市 就職相談コーナー 来場者3名
(福祉・介護・健康フェア in 上越：来場者1,814名)

③ SNSを活用した広報活動

- ・ ブログ 就職フェア等のイベント周知を目的に、月1回程度更新。
- ・ フェイスブック 主にブログ記事の周知を目的に更新。
- ・ 県ポータルサイト 人材センターの周知、就職フェア等のイベント告知を目的に活用。就職フェア、職場体験、見学会等の告知を行った。

④ パンフレット・チラシ等の作成

「ふくしのお仕事 Q & A がいど・ぶっく」パンフレット	1,000部
「アドバイザーによる専門相談」チラシ	4,000部
「新潟県福祉人材センター」リーフレット	4,000部
「福祉のお仕事求職登録の手引き」パンフレット	2,000部
「介護福祉士等届出制度」チラシ	1,000部
「福祉の仕事就活サポート BOOK」冊子	1,000部

(4) 求人・求職開拓の実施

① 求人事業所開拓

求人事業所の新規開拓および事業所の現状把握、求職者の紹介、福利厚生センターの加入促進等のために法人・事業所を訪問した。

月別実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	0	0	0	1	0	0	3	7	18	15	4	0	48

② 求職者開拓

求職登録者の増加を図るため、ハローワーク、介護職員初任者（実務者）研修実施機関、高校・大学・短大・専門学校・図書館・公民館・体育館等を訪問した。

（具体的な訪問目的）

- ・ 福祉の仕事の理解や魅力の発信
- ・ 福祉人材センター利用の周知・促進（登録・就職フェア・介護職場体験）
- ・ 福祉の仕事内容、就職状況、福祉の資格取得方法等の説明

月別実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	42	52	34	8	49	40	15	1	0	28	3	1	273

③ アドバイザーによる専門相談の実施

本会が委嘱した3人の「働きやすい職場づくり専門相談員（アドバイザー）」による相談を実施した。

【専門相談員（アドバイザー）】

- ・ 弁護士 村上 裕
- ・ 社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉
- ・ 公認会計士・税理士 逸見 和宏

【相談内容・件数】

- ・ 利用者とのトラブル関係2件 ・ 職員とのトラブル関係5件
- ・ 規則の見直し5件 ・ 経理関係2件 計 14件

④ 介護人材の緊急的な確保対策事業

ア 県内7カ所のハローワークでの定期的な福祉職場相談会

ハローワーク名	月回数	開催日	相談時間	実施回数	相談者数
長岡	1回	第3金曜日	10:00～11:30	12回	159名
上越	1回	第2水曜日	13:30～15:30	11回	123名
三条	1回	第3火曜日	13:30～15:00	8回	16名
柏崎	1回	第4火曜日	13:30～15:00	8回	14名
新発田	隔月	第1金曜日	13:30～15:00	6回	29名
巻	1回	第4金曜日	10:00～12:00	6回	21名
新津	隔月	第3水曜日	13:30～15:00	4回	9名
合 計				55回	371名

イ ハローワーク主催の福祉職場相談会（介護就職デイ）

ハローワーク名	期 日	会 場	相談者数
柏崎	11月2日	ハローワーク柏崎	18名
上越	11月6日	上越テクノスクール	1名
新潟	11月9日	新潟テクノスクール	3名
新発田	11月11日	ハローワーク新発田	18名
三条	11月18日	ハローワーク三条	5名
長岡	11月28日	ハローワーク長岡	7名
合 計			34名

(5) 福祉のしごと就職等

① 福祉のしごと就職フェア(センター事業)の開催

日・場所等	内 容
5月18日 新潟市 (来場者 111名) (参加法人 64)	①就活支援セミナーの開催(参加者数21名) 「応募書類(履歴書・エントリーシート)作成時のポイント」 講師 MS アカデミー株式会社 相馬 美保子 ②求人法人との集団・個別相談 ③福祉の就職状況、就職活動方法、資格取得方法相談 ④福祉人材確保機関との相談 (ハローワーク新潟、県ナースセンター、介護労働安定センター新潟支部、新潟県保育サポートセンター) ⑤参加法人資料の提供

② 福祉のしごと就職フェア(マッチング支援事業)の開催

期 日・場 所	参加者数	参加法人数	内 容
6月1日	33名	25	①求人法人との個別面談・集団面談 ②新潟県福祉人材センター就職相談 ③就活支援セミナーの開催
6月8日	20名	10	
7月7日	27名	15	
9月8日	17名	14	
10月5日	15名	10	
10月27日	49名	20	
2月1日	28名	20	
合 計	7回	189名	114

③ 人材確保のための法人向けセミナーの開催

法人の人材育成・採用担当者を対象に、人材育成と定着を目的に開催した。

期日・場所	内 容
12月11日 新潟市 (参加者76名)	【講義・講演】 「福祉施設は、働き方改革推進法で何が変わる ～中小事業者は働き方改革にどう取り組むか～」 新潟県社会福祉協議会専門相談アドバイザー 社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉

(6) 福祉のしごと就活さばーとセミナー

期日・場所	内 容
3月1日 新潟市	【講 義】 「就職活動における自己分析～新しい自分を見つけよう～」 MSアカデミー株式会社 星野 亜美
※新型コロナウイルス 感染症感染拡大 防止の観点から 開催中止	【就職説明会】 ・県内に福祉施設をもつ20法人が参加予定であった。

(7) 他団体主催の就職フェア等への参加

新潟県福祉人材センターの周知を図るため、他団体主催の各就職フェアに参加した。

① 新潟医療福祉大学求人説明会（主催：新潟医療福祉大学 社会福祉学科）

5月25日(土) 参加法人数46 全体参加者数192名(福祉人材センターブース参加者18名)

② 介護助手就職フェア(主催：新潟県)

9月21日(土)長岡会場 参加法人数9 全体参加者数12名 相談者数9名

9月22日(日)新潟会場 参加法人数11 全体参加者数38名 相談者数3名

③ すこやかともしびまつり(主催：すこやかともしびまつり実行委員会)

9月28日(土) 相談者2名 9月29日(日) 相談者4名

(8) 福祉職場体験

介護の職場の雰囲気やサービスの内容を直接知ってもらい、円滑に就職ができるように実施した。

(福祉職場体験)

体験者	体験者数	体験日数	体験延日数
就労希望者	37名	1～5日	57日
高校生	96名	1～5日	216日
合計	133名	—	273日

(介護施設見学)

1回2施設を訪問し、昼食は施設利用者の常食をいただいた。

	実施回数	就労希望者	高校生	合計
		延べ参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数
バスツアー	10	86名	4名	90名

(9) 長岡支所の運営

- ・ 場所：長岡市社会福祉センター内
- ・ 相談日時：毎週月曜～金曜 10:00～16:00〈事前予約制〉
- ・ 相談実績：相談者数24名 求職登録者数10名 就職者数3名

(10) 上越出張相談の実施

- ・ 場所：上越総合福祉センター内
- ・ 相談日時：毎週月曜～金曜 11:00～16:00〈事前予約制〉
- ・ 相談実績：相談者数10名 求職登録者数6名 就職者数3名

(11) 福祉人材にかかる関係機関・団体との連携

- ・ 「福祉人材確保推進協議会」(新潟労働局主催 2回)
- ・ 「介護人材確保対策会議」(新潟県主催 1回)
- ・ 「介護人材確保対策検討会議 合同部会」(新潟県主催 1回)
- ・ 「新潟県地域ジョブカードセンター運営本部会議」(新潟労働局主催 2回)

- ・ 「新潟県介護労働懇談会」(介護労働安定センター新潟支部主催 2回)
- ・ 「ながおか介護職のイメージアップ研究会」(同会主催 1回)
- ・ 「県内の保育士確保に関する情報交換会」(新潟県主催 1回)

(12) 離職介護福祉士届出事業周知の実施

- ・ 有効届出登録者84名
- ・ 月1回メールにてワンポイント介護技術等の届出者限定情報を配信

2 介護福祉士等修学資金貸付事業

福祉・介護分野への就労の促進を図ることを目的として、介護福祉士及び社会福祉士養成施設の入学者や離職した介護福祉士等有資格者の再就職にあたり修学資金等の貸付けを行った。

(1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金

① 貸付決定実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	45	62,400,000	3	1,760,000	48	64,160,000
入学準備金	42	8,400,000	2	400,000	44	8,800,000
就職準備金	42	8,250,000	0	0	42	8,250,000
生活費加算	0	0	0	0	0	0
国家試験対策費	35	1,400,000	—	—	35	1,400,000
合 計	164(45)	80,450,000	5(3)	2,160,000	169(48)	82,610,000

※件数の()内は実人員、国家試験対策費は介護福祉士のみ

② 貸付金交付実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	60	35,400,000	3	1,340,000	63	36,740,000
入学準備金	42	8,400,000	2	400,000	44	8,800,000
就職準備金	9	1,800,000	0	0	9	1,800,000
生活費加算	3	1,080,000	0	0	3	1,080,000
国家試験対策費	5	200,000	—	—	5	200,000
合 計	119(60)	46,880,000	5(3)	1,740,000	124(63)	48,620,000

※件数の()内は実人員、平成29年度貸付決定者4名、平成30年度貸付決定者11名、令和元年度貸付決定者45名

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金

① 貸付決定実績及び貸付金交付実績

	件数	金額(円)
貸付決定実績	105	16,910,000
貸付金交付実績	105	16,910,000

(3) 離職介護人材再就職準備金

① 貸付決定実績及び貸付金交付実績

	件数	金額（円）
貸付決定実績	0	0
貸付金交付実績	0	0

(4) 貸付金の返還及び免除の実績

	貸付金の返還		貸付金の免除	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
介護福祉士修学資金	26	6,460,236	99	174,713,334
社会福祉士修学資金	1	118,200	2	1,500,000
介護福祉士実務者研修受講資金	3	360,000	1	100,0000
離職介護人材再就職準備金	0	0	3	600,000
合計	30	6,938,436	105	176,913,334

3 社会福祉従事者福利厚生事業

(1) 県民間社会福祉職員退職積立基金事業

本会会員である民間社会福祉施設・団体職員の退職の際に、一時金等を支給する退職手当制度の運営にあたり、資産管理及び運営状況等の情報を開示し、適正な制度運営を行った。

① 加入状況（令和2年3月31日現在）

- ・ 加入施設・団体数：639施設・団体
- ・ 加入職員数：22,435名

② 給付状況（令和2年3月31日現在）

- ・ 脱退一時金支給1,714名

③ 運営委員会

期日・場所	内 容
第1回 7月12日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度収支決算及び運営実績 ・ 平成30年度運用実績と今後の運用方針について
第2回 2月27日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度運営状況及び補正予算(案) ・ 令和2年度収支予算(案) ・ 令和元年度運用実績と今後の市場の見通しについて

(2) 社会福祉施設職員退職手当共済事業

独立行政法人福祉医療機構が取り扱う「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」において、退職給付関係書類の厳正な受付事務を行い、適正な制度運営に努めた。

(3) 社会福祉事業従事者福利厚生事業（福利厚生センター）

民間社会福祉事業従事者の福利厚生事業を全国規模で実施する「福利厚生センター」の県事務局として、会員交流事業等の実施により福利厚生の充実に努めた。

また、新潟県内における福利厚生センター加入事業所の担当者に向けて、事業に対するニーズを把握し、今後の事業運営の参考とするためにアンケート調査を行い、その結果を事業運営に反映するよう努めた。

・加入法人数：50法人(160事業所) ・加入職員数：4,070名

① 福利厚生企画・情報会議

期日・場所	協 議 事 項
2月4日 新潟市	・2019年度福利厚生センター事業実施状況について ・2020年度福利厚生センター事業計画について

② 会員交流事業

期日・場所	内 容	参加人数
7月7日 (4月20日振替) 新潟市	・Suchmos ARENA TOUR 2019	8名
5月1日～6日 新潟市	・プラレール博inNIIGATA ～ようこそ！夢のテーマパークへ～	127名
5月8日 新潟市	・プロ野球セ・リーグ公式戦「横浜 DeNA ベイスターズ VS 読売ジャイアンツ」	104名
6月6日～7日 新潟市	・立川志の輔 新潟10回目の独演会	11名
6月29日 新潟市	・森高千里「この街」 TOUR 2019	6名
7月6日 長岡市	・林部智史 CONCERT 2019初恋の音楽	3名
7月13日～15日 長岡市	・2019国立ボリショイサーカス in アオーレ長岡	52名
7月17日 長岡市	・春風亭昇太・林家たい平 二人会	25名
7月21日 長岡市	・それいけ!!アンパンマンミュージカル おかしな国のおかしなパーティ	41名
7月13日～9月23日 新潟市	・MOE 40th Anniversary 人気絵本のひみつ展	76名
8月2日 長岡市	・長岡まつり大花火大会鑑賞	40名
8月31日 新潟市	・音楽と髭達2019 -最後の花-	50名
7月10日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2019】 「あさひ山 蛭庵」ランチ&日本酒の酒蔵見学	20名
7月10日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2019】「佳肴 あさひ山」で大人ランチ	43名
7月10日～3月31日 新潟市	・【酒造フェア2019】岩室温泉 富士屋 自家源泉の宿での温泉とランチバイキング	54名
7月10日～3月31日 新潟市	・【酒造フェア2019】ワイナリー&レストラン フェルミエ	21名
7月10日～3月31日 十日町市	・【酒造フェア2019】あてま高原リゾート ホテルベルナティオ	40名
7月10日～11月29日 上越市	・【酒造フェア2019】岩の原葡萄園 ワイナリーレストラン	30名
7月31日～8月18日 新潟市	・ブリックライブ アニマルパラダイスin新潟	63名
9月7日～8日 長岡市	・スペシャルものまねライブ「変人7」	9名
10月22日 新潟市	・宝塚歌劇雪組全国ツアー新潟公演	17名
12月7日 長岡市	・きかんしゃトーマス クリスマスコンサート	19名
12月15日 南魚沼市	・南魚沼寄席 三遊亭円楽 林家三平 落語会	5名
9月28日～29日 千葉県	・ディズニーリゾートの旅	54名
10月1日～2月29日 新潟県内	・うれしさいっぱいミールクーポン	801名
10月1日～2月29日 新潟県内	・ゆったり・のんびり 日帰り温泉でリフレッシュ	400名
6月1日～1月31日 千葉県	・お得に楽しむ♪ディズニーリゾート利用券	130名
7月1日～12月31日 新潟県内	・【第1回】映画鑑賞割引券(提携映画館)	1,500名
11月2日～1月19日 新潟市	・アンドリュウ・ワイエス展 オルソン・ハウスの物語	26名
12月1日～5月31日 新潟県内	・【第2回】映画鑑賞割引券(提携映画館)	1,142名

③ 会員交流事業（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
入場料・利用料助成	サントピアワールド、朝日きれい館、アクア-レ長岡、ミオンなかさと、多宝温泉だいろの湯、ネイチャーリングホテル米本陣、ごまどう湯っ多里館、いい湯らてい、旬彩の庄 坂戸城、舞子リゾート（日帰り温泉・ディスクゴルフ・グラウンドゴルフ）フォレストアドベンチャー・湯沢中里、湯沢中里ファミリーショートコース、ゆーパーク薬師、湯どころ ちぢみの里、紫雲の郷、聖籠観音の湯ざぶーん

④ 地域開発メニュー（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
利用料割引	ホテルグリーンプラザ上越、上越国際プレイランド、新樽ヶ橋温泉クアハウスたいない、ホテル太閤、舞子高原ホテル、NASPAニューオータニ、めんめん亭わたや
入館料割引	野天風呂湯元龍泉、桂の関温泉ゆ〜む、秋葉温泉花水、石打ユングパルナス、うみてらす名立、雪だるま温泉 雪の湯
リフト券等割引	ムイカスノーリゾート、奥只見丸山スキー場、NASPAスキーガーデン、舞子スノーリゾート、湯沢中里スノーリゾート、ニノックススノーパーク、上越国際スキー場、岩原スキー場、キューピッドバレイスキー場、車山高原 SKYPARK スキー場
割引斡旋	白石薬品(株)家庭常備薬、丸大食品(株)お中元お歳暮商品、新茶屋酒店 地酒等特別販売
チケット先行予約	キョードー北陸、FOB企画、テレビ新潟、劇団四季

推進目標 2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進

1 介護実習・普及センター運営事業

(1) 介護実習・普及センター運営委員会

期日・場所	協議事項
1月17日 新潟市	・令和元年度介護実習・普及センター事業実施状況について ・令和2年度介護実習・普及センター事業計画(案)について

(2) 県民介護知識・技術習得講座

① 介護の基礎コース

期日・場所等	内 容	
6月コース 6.13.14日 19.24.26日 新潟市 (参加者20名)	講義「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 敬和学園大学 非常勤講師 講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住	宮崎 則男 本間 良
7月コース 9.16.17日 18.23.24日	研究・研修センター長岡 センター長 グループホーム川崎東 管理者 特別養護老人ホーム中之島 総括主任	遠藤 真一 多田 良 佐藤 みどり

長岡市 (参加者29名)	講義「高齢者・障がい者の理解」 新潟県在宅保健師の会「燈々会」会員
10月コース 3. 10. 11日	石川 玲子、近 百合、石田 奈津子、清水 明子
15. 23. 28日	講義「介護のための基礎知識」 新潟県介護福祉士会会員 山田 沙耶香
新潟市 (参加者31名)	講義「地域におけるつながり」 敬和学園大学 非常勤講師 本間 良
12月コース 2. 5. 6日	体験「高齢者疑似体験と福祉用具」 あおやまメディカル株式会社アミエル ユニゾンプラザ店 福祉用具専門相談員
10. 13. 17日	実技「基本介護技術の習得」
新潟市 (参加者19名)	新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子、岩崎 朋子、近藤 トシコ
	実技「家庭における緊急時の対応」 日本赤十字社救急法指導員 長島 和正、川島 裕子

② ステップアップコース

期日・場所等	内 容
第1回 8月26. 27. 30日 新潟市 (参加者25名)	実技「介護技術の習得」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子、近藤 トシコ、岩崎 朋子
第2回 9月10. 11. 12日 長岡市 (参加者25名)	
第3回 11月13. 14. 15日 新潟市 (参加者19名)	
第4回 1月23. 24. 29日 新潟市 (参加者19名)	

③ 介護体験・入門コース

期日・場所等	内 容
第1回 6月28日 上越市 (参加者14名)	実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川美穂子
第2回 7月29日 新潟市 (参加者14名)	実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 実技「自立に向けた排泄介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川美穂子
第3回 8月4日 新潟市 (参加者20名)	講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 演習「認知症の方への対応」

	新潟県介護福祉士会会員	西本 円
第4回 8月17日 新潟市 (参加者16名)	実技「車イスへの安全な介助の方法（全介助）」 実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱介助」 新潟県介護福祉士会会員	岩崎 朋子、近藤 トシコ
第5回 9月20日 新潟市 (参加者13名)	実技「車イスへの安全な介助の方法（全介助）」 実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱」 新潟県介護福祉士会会員	佐藤 久枝、近藤 トシコ
第6回 2月15日 新潟市 (参加者26名)	実技「車イスへの安全な介助の方法（一部介助）」 実技「食事介助の方法」 新潟県介護福祉士会会員	近藤 トシコ、岩崎 朋子

(3) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

① 新潟ユニゾンプラザ1階 福祉機器展示室

福祉用具の展示、販売

- ・ 福祉用具・住宅改修等の相談、助言及び高齢者疑似体験の実施
- ・ 福祉用具に関する情報提供と普及促進

② 11月17日「福祉・介護・健康フェア2019」（新潟会場）へのブース出展（福祉機器展示、相談、販売ほか）

2 介護等体験事業（教育職員免許法の特例に伴う「介護等の体験」事業）

教育職員免許法の特例に基づき、小・中学校教諭の普通免許取得希望者に義務づけられている介護等体験の社会福祉施設への受入が適正かつ円滑に実施されるよう、斡旋、調整を行った。

- ・ 受入調整実績：体験受入施設数182施設 体験者数500名

推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進

1 社会福祉研修センター運営事業

(1) 社会福祉研修事業運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
1月22日 新潟市	・ 令和元年度事業実施状況及び令和2年度事業計画(案)について

(2) 社会福祉行政職員研修（県受託研修）

① 福祉行政新任職員研修

福祉行政に携わる新任職員を対象に、行政職員として必要な知識・技術の習得と役割の自覚、業務の適正処理を図ることを目的に実施した。

期日・場所等	内 容
5月16～17日 新潟市 (受講者27名)	講義「生活保護と生活困窮者自立支援制度について」 県福祉保健部福祉保健課 保護係 主査 神田 元 講義「高齢者の保健福祉施策」

県福祉保健部高齢福祉保健課 副参事・高齢化対策係 係長 柴山 敦子 講義「児童の福祉施策」
県福祉保健部少子化対策課 副参事・保育支援係 係長 小田安樹子 県福祉保健部児童家庭課 家庭福祉係 係長 平田 常幸 講義「社会福祉行政論」
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学科 教授 高橋 英樹 講義「障害者の福祉施策」
県福祉保健部障害福祉課 自立支援係 係長 馬場 奈緒 講義「地域福祉の推進について」
県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 目崎 幹生 講義・演習「地域包括ケアを推進するために」
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学科 准教授 中川 兼人

(3) 社会福祉施設職員研修（県受託研修）

社会福祉施設役職員を対象に、経験年数に応じた階層や職種を考慮した研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 7月17～18日 新潟市 (受講者69名)	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」
第2回 9月11～12日 新潟市 (受講者61名)	講義・演習「対人関係マナーとコミュニケーション」 講義・演習「福祉職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究の進め方の基礎」 「福祉サービスとリスクマネジメント」 他啓発科目
第3回 10月30～31日 三条市 (受講者58名)	講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」 新潟県介護福祉士会 顧問 大塚トシ子 おやなぎ社会福祉士事務所 代表 小柳 緑 新潟県介護福祉士会 運営委員 近藤トシコ
第4回 11月21～22日 新潟市 (受講者47名)	相談支援センターみなみうおぬま 施設長 高野八千代 新潟県介護福祉士会 運営委員 高橋 詩子 はやし社会福祉士事務所 代表 林 正海 けやき福祉会 理事 丸山 仁 居宅介護支援事業所きずな 管理者 丸山 径世

② 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈中堅職員コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 7月23～24日	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」

新潟市 (受講者49名)	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」		
第2回 8月27～28日 三条市 (受講者55名)	講義・演習「チームケアと問題解決」 講義・演習「中堅職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究」 「利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント」		
第3回 9月3～4日 新潟市 (受講者47名)	講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」	高年齢者総合福祉相談センター福住	他啓発科目
第4回 10月24～25日 新潟市 (受講者45名)		研究・研修センター長岡 センター長 長岡介護福祉専門学校あゆみ 専任講師 新潟みずほ福祉会 本部総務部 企画室長	遠藤 真一 大井 秀行 金子 浩 神田真紀子
第5回 11月13～14日 新潟市 (受講者49名)		上越保健医療福祉専門学校 教務主任 新潟市地域包括支援センターあじかた 管理者 新潟県社会福祉士会 事務局長 新潟県介護福祉士会 副会長	倉茂 浩司 小山 弓子 田崎 基 西本 円
第6回 12月4～5日 新潟市 (受講者18名)		相談支援センターそらうみ 管理者 障がい者支援施設緑風園 園長	本間 奈美 渡辺 陽一

③ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈チームリーダーコース〉

期日・場所等	内 容		
第1回 9月25～26日 三条市 (受講者49名)	講義・演習「研修の目的」 「チームリーダーとしてのキャリアデザインと セルフマネジメント」		
第2回 10月1～2日 新潟市 (受講者54名)	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成」 講義・演習「OJTの効果的推進」 「問題解決等会議の効果的な進め方」 講義・演習「チームリーダーとしての自己成長と職場研修の推進」		
第3回 11月6～7日 新潟市 (受講者56名)	「業務課題の解決と実践研究」 「サービスの質の確保・向上リスクマネジメント」 講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」		他啓発科目
		おおや精神保健福祉士オフィス 代表 特別養護老人ホーム大山台ホーム 施設長 新潟県社会福祉士会 会長 クラレテクノ(株) ちゅーりっぷ苑 副苑長	大屋 未輝 後藤 孝志 星井 勝博 新野 直紀

	新潟県介護福祉士会 会長 宮崎 則男 障害福祉サービス事業所ポプラの家 所長 山賀 亮一
--	---

④ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈管理職員コース〉

期日・場所等	内 容
8月8～9日 新潟市 (受講者53名)	講義・演習「研修の目的」 「管理職員としてのキャリアデザインと環境整備」 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成」 講義・演習「利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み」 講義・演習「管理職員としての能力開発と人材育成」 「法人・事業所の業務の改善、組織の問題解決」 「福祉経営とリスクマネジメント」 他啓発科目 講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫

⑤ エルダー研修

期日・場所等	内 容
6月5日 新潟市 (受講者109名)	講義「エルダーの考え方と、育成・指導におけるポイント」 講義・演習「育成計画を立ててみよう」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 特任教授 藤沢 直子

⑥ 福祉事業所におけるキャリアパス構築支援研修

期日・場所等	内 容
5月20日 新潟市 (受講者26名)	講義「福祉の人材育成の現状と課題～キャリアパスの基本的理解～」 講義・演習「事業所におけるキャリアパスの構築及び活用方法」 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 教授 永田 理香

⑦ 接遇研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 6月18日 新潟市 (受講者55名)	講義「接遇の基本～福祉サービスの心構えとマナー～」 講義・演習「職場における実践マナー」 特別養護老人ホーム白ふじの里 園長 佐野 一美
第2回 7月4日 新潟市 (受講者66名)	

⑧ 接遇研修〈リーダーコース〉

期日・場所等	内 容
第1回	講義「接遇対応の基本」

7月25日 新潟市 (受講者84名)	講義・演習「リーダーの役割と問題解決の方法～職員の意識改革と組織開発を考える～」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 特任教授 藤沢 直子
第2回 9月20日 新潟市 (受講者95名)	

⑨ 社会福祉職員スタートアップ研修

期日・場所等	内 容
8月1～2日 新潟市 (受講者80名)	講義「福祉サービスの基本理念と職業倫理」 講義・演習「対人援助職に求められる知識・技術について」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 助教 佐久間由紀 講義「社会福祉のあゆみと社会福祉施策の動向」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 助教 渡邊 恵司 講義・演習「利用者本位のサービス提供を実現するために」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 教授 渡邊 敏文

⑩ 社会福祉施設職場研修担当職員研修

期日・場所等	内 容
8月20～21日 新潟市 (受講者54名)	講義「これからの福祉人材育成と推進方法～組織開発という視点から～」 講義・演習「職場研修の考え方と推進方法」 「職場研修の推進実態を診断する」 「OJT 活性化施策の推進」 「OFF-JT による人材育成」 「研修ニーズ分析と年度計画の策定」 「職場研修担当職員の役割と課題」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 講師 中井 良育

◎⑪ 福祉職場の働き方改革研修

期日・場所等	内 容
6月11日 新潟市 (受講者81名)	講義「働き方改革と人事管理」 「福祉職場の非正規雇用」 「福祉職場の定年再雇用」 「福祉職場の多様な働き方とキャリアパス・人事考課」 (株)エイデル研究所 社会保険労務士 勝本 康司

◎⑫ スーパービジョン研修

期日・場所等	内 容
8月30日 新潟市 (受講者79名)	講義「スーパービジョンの基礎的理解」 講義・演習「スーパービジョンの実践・展開」 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学科 准教授 中川 兼人

(4) 社会福祉課題別研修（県社協自主研修）

社会福祉施設役職員を対象に、職種・研修ニーズを考慮した課題別の研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① アクティビティ・ケア研修

期日・場所等	内 容
9月18日 新潟市 (受講者107名)	講義「アクティビティ・ケアの基礎理論」 実技「アクティビティ・ツールの制作と実践」 高齢者アクティビティ開発センター 代表 多田 千尋 実践発表「アクティビティ・ケア実践活動について」 医療法人社団川瀬神経内科クリニック 介護科課長 高橋 芳雄 交流学习「心を動かすコミュニケーション実践」 講義・まとめ「アクティビティ・ケアの実践に向けて」 高齢者アクティビティ開発センター 代表 多田 千尋

② 気づく力研修

期日・場所等	内 容
第1回 8月22日 新潟市 (受講者130名)	講義・演習「今、中堅職員に求められること～人が育つ・職場が変わる気づき力～」 日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫
第2回 9月10日 新潟市 (受講者118名)	

③ 認知症ケア・対応研修

期日・場所等	内 容
第1回 7月9日 新潟市 (受講者120名)	講義・演習「認知症疾患の理解について」 「認知症ケアと対応について」 クラレテクノ(株) ちゅーりっぷ苑 副苑長 新野 直紀
第2回 10月23日 新潟市 (受講者112名)	

④ コミュニケーションスキルアップ研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
5月30日 新潟市 (受講者88名)	講義・演習「自己覚知と他者理解」 「コミュニケーションの基本」 「記録の書き方」 新潟医療福祉カレッジ 介護福祉学科 主任 山田 允宣

⑤ コミュニケーションスキルアップ研修〈リーダーコース〉

期日・場所等	内 容
6月26日 新潟市 (受講者89名)	講義・演習「リーダーの基礎知識」 「チームにおけるコミュニケーション」 新潟医療福祉カレッジ 介護福祉学科 主任 山田 允宣

⑥ ストレスマネジメント研修

期日・場所等	内 容
5月31日 新潟市 (受講者96名)	講義・演習「ストレス及びメンタルヘルスの理解」 「ストレス状態やストレスタイプの理解」 「ストレスへの対処法について」 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 准教授 松本 京介

⑦ コーチング研修

期日・場所等	内 容
10月17日 新潟市 (受講者109名)	講義「コーチングとは～コーチングの基本的理解～」 講義・演習「コーチングスキルの習得・実践」 「コミュニケーションの方法・実践」 (株)コーチエンタープライズ 代表取締役 諸橋 奈々

⑧ モチベーションアップ研修

期日・場所等	内 容
12月11日 新潟市 (受講者115名)	講義・演習「感情労働とモチベーションアップ～チームの「元気」の支え方～」 ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸

⑨ 看取りケア研修

期日・場所等	内 容
12月18日 新潟市 (受講者131名)	講義「施設・在宅における看取りの現状と対応について」 演習「施設での取組や課題を元にしたグループワーク」 「グループ発表」「発表の講評・助言」 長岡崇徳大学 看護学部 講師 本間美知子 特別養護老人ホームさわたりの郷 医務課長 村川 英伸

⑩ 高齢者・障害者虐待防止・対策研修

期日・場所等	内 容
6月27日 新潟市 (受講者134名)	講義・演習「施設等における虐待を防ぐために～アンガーマネジメントとフロー理論～」 社会福祉法人みずき福祉会 理事長 阿部 美樹雄

⑪ 口腔ケア研修

期日・場所等	内 容
12月23日 新潟市 (受講者117名)	講義「口腔ケアの必要性・効果と実際」 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野 教授 大内 章嗣 講義・実習「口腔ケアの実際とドライマウス」「食事介助の基本」 演習「口腔ケアを進めるために」 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師 伊藤加代子 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野 教授 大内 章嗣

⑫ 伝える力研修

期日・場所等	内 容
10月16日 新潟市 (受講者135名)	講義「コミュニケーションの基本」 「相手に伝えるためのコミュニケーション方法」 「対人援助職に必要とされる伝える力（プレゼンテーション力）」 講義・演習「プレゼンテーション力を高めるためには」 東京工芸大学 芸術学部 教授 大島 武

⑬ 記録の書き方研修

期日・場所等	内 容
第1回 7月10日 新潟市 (受講者107名)	講義「記録の目的・役割・意義」「記録の書き方の基本」 講義・演習「記録の書き方の基本・ポイント」「事例で学ぶ記録の書き方」 田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 村井 祐一
第2回 10月4日 新潟市 (受講者129名)	

⑭ 対人援助職のためのファシリテーション研修

期日・場所等	内 容
11月12日 新潟市 (受講者92名)	講義「ファシリテーションの基本」 講義・演習「職場で活かすファシリテーション」 ヒューマンリソースデザイン(株) 代表取締役 中村 誠司

⑮ 福祉・介護職員リーダーシップ研修

期日・場所等	内 容
9月6日 新潟市 (受講者96名)	講義・演習 「福祉リーダーの極意～揺るぎない“福祉のプロ”を目指して～」 日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫

⑯ フィジカルアセスメント研修

期日・場所等	内 容
6月7日 新潟市 (受講者97名)	講義「介護現場におけるフィジカルアセスメントの意義と概要」 講義・演習「高齢者の身体的特徴と観察のポイント」 「生命維持・生活支援のためのフィジカルアセスメント」 清泉女学院大学 看護学部 教員 大澤 智恵子

◎⑰ チームワーク向上研修

期日・場所等	内 容
6月19日 新潟市 (受講者96名)	講義・演習「職場におけるチームワークの促進」 「問題解決力を高めるために」 グローバルマーケティング(株) 代表取締役 今井 進太郎

◎⑱ 相談面接技術基礎研修

期日・場所等	内 容
7月3日 新潟市 (受講者112名)	講義「相談面接技術の理解」 講義・演習「相談面接の実践」 おおよ精神保健福祉士オフィス 代表 大屋 未輝

⑲ 社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
9月2日	講義「令和時代のビジョンを描く！」

新潟市 (受講者86名)	2040年を展望した社会福祉と社会福祉法人 全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 専門員 村木 宏成 説明「ここが知りたい社会福祉法人経営Ⅰ」 「ここが知りたい社会福祉法人経営Ⅱ」 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局
-----------------	--

⑳ 新潟県経営協セミナー（後期）（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
12月18日 三条市 (受講者61名)	講義「経営者が主導する働き方の改革と人材確保 ～社会福祉法人経営をめぐる動向も含めて～」 講義「明日の法人経営を考える～保育所経営法人を中心に～」 全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員会 委員 辻中 浩司 説明「お答えします！よくあるちょっと教えて！経営協」 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

2 福祉職員研修受講支援事業の推進

社会福祉従事者に対し、研修に関する情報ををより幅広く一体的に提供することで、人材育成の促進を図った。

(1) 研修情報提供事業

社会福祉研修センターホームページに、県社協、県老人福祉施設協議会、県社会福祉士会、県介護福祉士会、県介護支援専門員協会、県ヘルパー協議会及び県保育連盟の7福祉団体が主催する研修会を一体的に掲載し、県内社会福祉行政関係職員、社会福祉施設関係職員、市町村社会福祉協議会職員が、それぞれの専門分野、キャリアに応じた研修を受講できるよう情報提供を行った。

(2) 研修履歴管理システム活用事業

社会福祉研修センターホームページ上の研修受講履歴管理システムから、各職員の研修履歴を管理するとともにそれぞれの職員に必要なとされるおすすめの研修を提案し、キャリアパスやスキルアップ支援を行った。

(3) 福祉団体研修担当者打合会の開催

福祉団体事務局の研修担当職員が、事業計画やホームページ掲載内容等について情報共有を行った。

期日・場所等	協 議 事 項
1月30日 新潟市	・令和2年度研修実施計画について

3 福祉職員のキャリアパス構築の推進〈活動指針〉

社会福祉従事者が自らのスキルアップの道筋（キャリアパス）を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援するとともに、法人・事業所が主体的に職員のキャリアパスを整備し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することを支援した。

(1) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の実施（再掲）

- ・初任者コース (全4回・受講者数235名)
- ・中堅職員コース (全6回・受講者数263名)
- ・チームリーダーコース (全3回・受講者数159名)
- ・管理職員コース (全1回・受講者数53名)

(2) 講師打合せ会の開催

期日・場所等	協 議 事 項
2月17日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」実施報告について ・令和2年度「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」実施計画について ・令和元年度研修受講後アンケート調査の実施について

(3) 社会福祉施設・事業所におけるキャリアパス構築支援研修等の開催

社会福祉施設・事業所におけるキャリアパス体系整備と福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の活用方法等に関する研修を実施した。その他、福祉業務未経験であっても円滑に業務に就けるよう支援するとともに、新任職員の定着促進を図るための研修を実施した。(再掲)

- ・福祉事業所におけるキャリアパス構築支援研修
- ・福祉職員スタートアップ研修
- ・エルダー研修

◎(4) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程研修受講後アンケート調査の実施

今後の福祉人材の確保・定着に向け、キャリアパス研修が、福祉・介護職員のキャリアアップや各法人・事業所のキャリアパス構築に資するものとして、どのような効果をもたらしているかを調査するため、受講者やその上司等を対象に受講後の行動面・意識面の変化などについてアンケート調査を実施した。

- ・調査対象：平成30年度に実施したキャリアパス研修の修了者(885名)
- ・調査方法：郵送にて調査用紙を送付し、回答のあったものを集計。(回答数：407、回答率46.0%)
- ・調査期間：令和2年1月14日～令和2年2月14日

4 介護支援専門員の養成・資質向上推進事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員になるために必要な実務研修の受講を希望する者に対し、事前に介護保険制度、要介護認定、居宅サービス計画等に関する専門知識を有しているかを確認するための試験を、新潟県の指定機関として実施した。

- ・介護支援専門員実務研修受講試験等実施本部の設置
- ・試験日 令和元年10月12日、令和2年3月8日(再試験)

【受験者及び合格者数等状況】

区 分	受験申込者数	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
10月12日	978名	830名	204名	24.6%
3月8日		50名	3名	6.0%
計	978名	880名	207名	23.5%

* 台風19号の影響で10月12日の受験者数が少なかったため3月8日に再試験を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、再試験も受験者が少ない結果となった。

基本方針Ⅴ 法人運営機能の強化

推進目標 1 組織推進体制・経営力強化

1 推進体制の確立

(1) 理事会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月24日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成30年度事業報告及び決算に関する件 第2号議案 評議員選任・解任委員の補欠選任に関する件 第3号議案 評議員補欠選任候補者の推薦に関する件 第4号議案 定時評議員会の招集に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 社会福祉充実残額について</p>
第2回 6月12日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 会長、副会長、常務理事の選定に関する件 第2号議案 評議員選任・解任委員の補欠選任に関する件 第3号議案 会計監査人の報酬に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 評議員の選任について</p>
第3回 3月17日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 令和元年度資金収支補正予算に関する件 第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 ファンドレイジング福祉にいがた基金の廃止に関する件 第4号議案 諸規程の改正・廃止に関する件 第5号議案 評議員補欠選任候補者の推薦に関する件 第6号議案 第2回評議員会の招集に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ② 決議の省略による令和2年度第1回理事会の開催について ③ 内部通報制度について ④ 新潟県社会福祉協議会事業継続計画（BCP）について</p>

(2) 評議員会

期日・場所	審 議 事 項
定時 6月12日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成30年度事業報告及び決算に関する件 第2号議案 理事の選任に関する件 第3号議案 監事の選任に関する件 第4号議案 会計監査人の選任に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 評議員の選任について ② 社会福祉充実残額について</p>
第2回 決議省略による	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 令和元年度資金収支補正予算に関する件 第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算に関する件</p>

(3) 評議員選任・解任委員会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月24日 新潟市	[審議事項] 評議員の補欠選任について
第2回 3月17日 新潟市	[審議事項] 評議員の補欠選任について

(4) 監事会

期日・場所	監 査 事 項
5月17日 新潟市	① 平成30年度事業の実施状況について ② 平成30年度一般会計及び生活福祉資金に係わる会計の決算及び財産の状況について ③ 社会福祉充実残額について

(5) 総合企画部会

期日・場所	協 議 ・ 報 告 事 項
2月7日 新潟市	① 活動指針の実施状況及び今後の取組について ② その他

(6) 会計実務実地指導

期日・場所	指 導 内 容
4月24～25日 新潟市	平成30年度決算事務実地指導 指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏

◎ (7) 会計監査人設置

- ・高志監査法人（新潟市）を選定し、令和元(2019)会計年度の監査契約を締結した。
任期 自 令和元年6月12日
至 令和元(2019)会計年度に係る定時評議員会の終結の時

◎ (8) 内部管理体制の整備

① 内部監査の実施

業務の適正及び効率性を確保するため、局内の業務執行状況を監査した。

期日・場所	内 部 監 査 事 項
11月23日 新潟市	・個人情報の保護に関する取り扱い ・業務の効率性を高める取り組み

② 内部通報窓口の設置

不正の未然防止を図るため、本会の内外から匿名相談できる通報窓口を設置した。

設置時期：令和元年10月

2 職員の育成・組織力向上

(1) 職員研修

期日・場所	内 容
6月25日 新潟市 (参加者47名)	[第1回組織力向上研修] 「県民に信頼される組織を目指して」 常務理事・事務局長 関谷 政友 「災害に強い組織づくり～事業継続計画(BCP)の策定について」 (株)浜銀総合研究所 主任コンサルタント 江嶋 哲也
2月5日 新潟市 (参加者30名)	[第2回組織力向上研修(新潟県社協災害支援者研修)] 「社協が行う被災者支援活動のあり方と社協職員に求められる支援者像を考える」 コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do 代表 栗原 英文
8月1～2日 新潟市	[階層別研修] ・新採用職員研修(本会主催・1名受講)
7月10～12日	・新任職員研修(全社協主催・1名受講)
10月8～10日 神奈川県	・管理職研修(全社協主催・1名受講)
5月9～10日 長岡市	[社協職員研修] ・社協新任及び初級職員研修会(1名受講)
7月29～30日 東京都	・関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会(3名受講)
11月29日 上越市	・若手職員の集い(6名受講)
通 年	[スキルアップ研修] ・新潟国際情報大学オープンカレッジ受講(3講座・3名受講) ・新潟県女性財団人材育成セミナー受講(2講座4名) ・県社協社会福祉研修センター研修受講(3講座3名)
11月28日 新潟市	[実践研修① 新任職員実地踏査研修] ・研修先：新潟市社会福祉協議会(7名)
通 年	[自己啓発研修] ・社会福祉主事資格認定通信課程 秋期コース(1名)
通 年	組織活性化かわら版「すくらむ」の発行 年12回

3 自主財源確保に向けた取組

県内企業・団体に対し「賛助会員入会のお願い」を郵送し、加入促進を図った。

〔新規入会数〕 10企業・団体

4 会館の管理運営

(1) 新潟ユニゾンプラザの管理運営

平成18年度より新潟県の指定管理者として、快適な環境のもとで利用が円滑に行われるよう施設の保守管理に万全を期すとともに、サービスの向上に努めた。

3月は新型コロナウイルス感染拡大防止による貸室のキャンセルが相次ぎ大きな影響を及ぼした。

① 利用実績

貸室名	利用日数(利用率%)	利用回数(利用率%)
多目的ホール	149 (42.8)	292 (28.0)
大研修室	272 (78.1)	570 (54.6)
大会議室	257 (73.9)	531 (50.9)
中研修室	271 (77.9)	513 (49.1)
小研修室1	262 (75.3)	492 (47.1)
小研修室2	252 (72.4)	486 (46.6)
小研修室3	254 (73.0)	533 (51.1)
小研修室4	291 (83.6)	604 (57.9)
特別会議室	222 (63.8)	431 (41.3)
和室	197 (56.6)	354 (33.9)
平均	243 (70.0)	481 (46.1)

・利用可能日数(開館日) 347日、時間帯(午前、午後、夜間)、利用可能回数 1,041回

② サービス向上、利用者ニーズの把握と施設運営への取組

- ・お客様専用ページによるインターネット予約手続き等の運用
- ・デジタル案内表示板の設置、会館の環境美化
- ・駐車場の管理・運営
- ・「お客様の声」箱の設置(常設)
- ・利用者満足度アンケートの実施(年2回)
- ・利用者懇談会の開催
- ・接客マナー向上の取り組み・研修への参加

③ 利用者懇談会

期日・場所	協議事項
12月11日 新潟市	・サービス向上のための改善措置状況について ・利用者アンケート調査の結果等について ・サービスの充実について(意見交換)

④ 利用者ニーズの反映・取組

- ・利用実態に即応した休館日を設定した。

- ・ 大研修室、大会議室のプロジェクターを2台更新した。

⑤ 自主事業の取組

- ・ 福祉機器展示室周年祭を実施(10月1日～11月30日)。
- ・ 地元小学校の施設見学を受け入れた。
- ・ 新潟まつり花火大会に合わせて、施設を一般県民に開放。
- ・ 福祉・介護・健康フェアに福祉機器展示室としてブース出展しPRに努めた。
- ・ 2月16日(日)に「ほっこり冬の縁日」を開催し、障害者アートの作品展示やバザーを行った。

⑥ 修繕等の実施状況

- ・ 県民サロン空調機冷温水コイル交換 (県費負担)
- ・ 多目的ホール親子室パッケージエアコン更新 (県費負担)
- ・ 2階ロビー等照明器具交換 (県費負担)

(2) 旧社会福祉会館の管理運営

本会と新潟県共同募金会が共有する旧新潟県社会福祉会館について、老朽化及び耐震性の問題から処分することとし、その諸手続きを実施した。

5 事業継続計画 (BCP) の策定

局内プロジェクトチームでの検討を基本に、外部コンサルタントの助言を取り入れ、事業継続計画 (BCP) を策定した。

事業継続計画作成時期：令和2年3月

[プロジェクトチーム開催実績]

期日・場所	協議事項
5月29日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトチームの概要について ・ 計画の案について ・ 各課・各班の策定作業について
8月26日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各課・各班の策定作業の進捗状況について ・ 作業様式の修正について ・ 次回会議日程について
11月7日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業継続計画 (案) について ・ コンサルタントからの所感
2月21日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業継続計画書の最終案について ・ 評価・改善の体制について

事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細は作成しない。

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会